

# データヘルス計画

## 第3期計画書

---

最終更新日：令和6年03月25日

横浜港湾健康保険組合

# STEP 1-1 基本情報

組合コード	45675
組合名称	横浜港湾健康保険組合
形態	総合
業種	運輸業

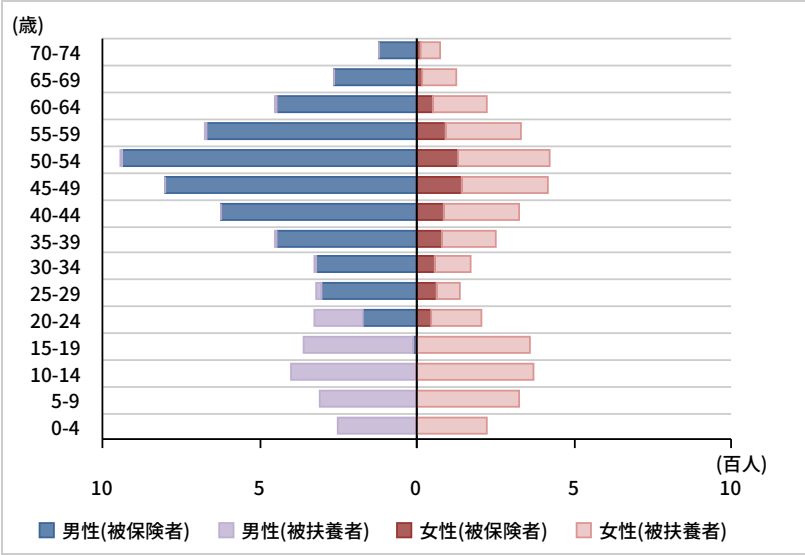
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	5,880名 男性87.1% (平均年齢48歳)* 女性12.9% (平均年齢45歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	10,580名	-名	-名
適用事業所数	85カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	85カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	94‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	2	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	4,329 / 5,618 = 77.1 %	
	被保険者	4,015 / 4,212 = 95.3 %	
	被扶養者	314 / 1,406 = 22.3 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	85 / 1,294 = 6.6 %	
	被保険者	81 / 1,269 = 6.4 %	
	被扶養者	4 / 25 = 16.0 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	26,496	4,506	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	3,350	570	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	6,690	1,138	-	-	-	-
	疾病予防費	48,827	8,304	-	-	-	-
	体育奨励費	350	60	-	-	-	-
	直営保養所費	100	17	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	85,813	14,594	0	-	0	-
経常支出合計 …b	3,787,529	644,138	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	2.27		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



## 男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	12人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	171人	25～29	303人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	320人	35～39	447人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	623人	45～49	802人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	935人	55～59	669人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	448人	65～69	265人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	120人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	1人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	45人	25～29	61人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	56人	35～39	79人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	84人	45～49	140人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	133人	55～59	89人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	50人	65～69	17人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	10人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	249人	5～9	309人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	402人	15～19	346人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	154人	25～29	17人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	8人	35～39	4人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3人	55～59	3人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	4人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	2人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	225人	5～9	327人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	370人	15～19	360人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	161人	25～29	74人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	116人	35～39	173人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	238人	45～49	275人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	292人	55～59	240人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	171人	65～69	111人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	61人			70～74	-人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

1. 港湾運送事業という業態のため、被保険者の約9割が男性で、女性の割合は低い。
2. 被保険者の年齢構成は40歳以上が多い。(65%以上)、男性の平均年齢は45歳を超えている。
3. 加入者数約1万の総合組合である。
4. 事業所数は85社であり中小規模の事業所が多く、拠点も点在している。
5. 当健保組合には、医療専門職が不在。

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

被保険者の特定保健指導、被扶養者の特定健診・特定保健指導の受診率・利用率の向上。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	健保事務担当者会議

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健康カレンダー配付
保健指導宣伝	パンフレット配付
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック薬品使用促進
保健指導宣伝	健保マイページ（季節の健康情報）
保健指導宣伝	検認

#### 個別の事業

特定健康診査事業	定期健康診査（特定健康診査/レディース健診含む）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	特定健診の勧奨
疾病予防	一次健診（定期健康診断）
疾病予防	個別健診（人間ドック含む）
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	家庭用常備薬配付
体育奨励	競技大会への補助
直営保養所	契約保養所

#### 事業主の取組

1	法定健診
2	ストレスチェック
3	雇入時健診

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
職場環境の整備												
保健指導宣伝	1,2,3,4,5,7,8	健康管理事業推進委員会	被保険者の特定保健指導、被扶養者の特定検査・特定保健指導の受診率・利用率を高める。医療費に関するコスト意識の向上。	一部の事業所	男女	18～74	加入者全員	48	令和4年10月5日 コロナ禍であったが委員会を実施。出席状況 25社中24社24名出席	各種保健事業の説明をとおして加入事業所の保健事業への意識向上に寄与した。	意識だけでなく健保とのコラボヘルスを積極的に行ってもらえるようにすることが目標。	5
	1,2,3,4,5,7,8	健保事務担当者会議	被保険者の特定保健指導、被扶養者の特定健康診査・特定保健指導の受診率・利用率を高める。医療費に関するコスト意識の向上。必要な健康教育。	全て	男女	18～74	加入者全員	0	年2回の担当者会議はコロナウイルス感染症予防から未実施となった。	担当者会議は行えなかったが、書面等にて、事業所との意見交換は行えた。	今後の担当者会議の実施方法について検討。開催時期や、費用面からの参加率減少が課題。	1
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2,5	健康カレンダー配付	加入者への意識づけ、健康教育。	全て	男女	18～74	基準該当者	1,961	令和4年11月28日～12月2日 各事業所を通じ全被保険者へ配付 健康管理推進委員会を実施し、例年通り健康カレンダーを配付した。	事業所担当者との意見・要望を確認した。	今後、ネット環境を利用し細かい意見や要望に対応していく。	5
	5,8	パンフレット配付	加入者への健康教育	全て	男女	18～74	加入者全員	88	令和4年5月17日 各事業所(86社)へ1部ずつ配付 ポスター、冊子等の配付は例年通り実施。	加入事業所へ健保事業内容の理解増進の為配付全事業所へ配付することができた。	ネット環境を活用した情報発信への転化を検討。	5
	2	医療費通知	加入者へコスト意識の教育。	全て	男女	0～74	基準該当者	0	被保険者・被扶養者は毎月、任継は令和5年1月19日 組合ホームページより医療費通知を出力。 全被保険者・被扶養者については、当組合ホームページ内の健保マイページへ毎月、医療費のお知らせをアップロードし閲覧する。 任継については、令和5年1月19日までに紙媒体により直接郵送。	組合ホームページへ毎月アップロードすることによって、随時最新の医療費通知を取得できる。 年末調整における医療費控除の明細に使用可能となり利用者の利便性が向上した。	特になし。	5
	2,7	ジェネリック薬品使用促進	加入者へコスト意識の啓蒙。医療費の削減。後発医薬品の使用促進。	全て	男女	0～74	基準該当者	41	年3回のジェネリック通知を実施。 お知らせ等の配付合計734名 令和4年7月1日 301名 令和4年11月1日 224名 令和5年2月28日 209名 ジェネリック希望シール購入	任継のみ直接郵送し、被保険者・被扶養者へは、当組合ホームページ内の健保マイページのジェネリック通知より閲覧する。 ジェネリック医薬品への変換率が上がっている。	ジェネリック医薬品通知の他、OTC薬品の利用案内も検討。	5
	5	健保マイページ(季節の健康情報)	加入者への健康意識付け	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	77	4月・7月・10月・1月の三ヶ月毎に更新	季節に合わせたコンテンツやタイムリーな話題を発信することで興味を引く情報提供を行っている	HPのマイページ閲覧数の増加につなげる	5
	2	検認	被扶養者における就職等の資格確認	全て	男女	0～74	被扶養者	0	令和4年4月12日(1回目) 令和5年2月14日(2回目)	中間サーバーを利用し検認の効率化を図り、拠出金・支援金の適正化に貢献。	特になし。	5
個別の事業												

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査事業	3	定期健康診査(特定健康診査/レディース健診含む)	特定健康診査の実施率向上加入者の健康維持	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員	25,461	被保険者については、巡回健診車による定期健康診査として実施 令和4年5月9日～令和4年7月22日まで  *上記以外で任意の健診機関で単独で受診した場合は、通年補助金を支給。 *受診券利用者については、通年受診可能とした 巡回健診車による受診者総数 4,347名 被保険者 3,159名 76社 巡回健診車以外の受診者総数 1,007名 被保険者 816名 被扶養者 191名	被保険者の特定健康診査については、巡回健診を実施することで9割の被保険者が受診しており成功している。 被扶養者への特定健康診査は受診率が低く次年度への課題としている。	被扶養者に対し、特定健康診査に対する理解を求め受診率の向上につとめる。 。次年度以降はレディース健診を実施。	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導	生活習慣病リスク保有者の生活習慣改善	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員	-	*令和4年7月より実施 特定健康診査(定期健康診査)の結果により、階層化し保健指導のお知らせを配付 動機付け支援利用券を317名に配付し、初回受診者 20名 終了者 11名 積極的支援利用券を812名に配付し、初回受診者 81名 終了者 42名	外部委託での特定保健指導を実施することで前年度より1.0倍近い指導実施者を達成することができたが実施率としてはまだ低いため来年度に向けて更なる施策を実施する。	事業主・被保険者・被扶養者の皆さんの理解を得よう啓蒙につとめる	4
保健指導宣伝	3	特定健診の勸奨	特定健診の受診率向上のため	全て	男女	40～74	被保険者、任意継続者	412	令和4年9月30日 被扶養者・任意継続被保険者特定健康診査対象者1,685名 中未受診者数 1,384名に送付 任継+被扶養者 受診者 315名/ 対象者1,421名	未受診者の被扶養者及び任意継続被保険者へハガキを送付し前年度より受診者数が25%向上した。	特定健康診査の受診率がまだまだ低い水準の為、特定健康診査の受診率向上のさらなる施策が必要。	2
疾病予防	3	一次健診(定期健康診査)	加入保険者の健康維持・管理	全て	男女	18～40	被保険者	8,863	第1期 令和4年5月9日～令和4年7月22日まで 巡回健診車による受診者総数 4,347名 被保険者 1,188名 54社 第2期 令和4年1月12日～2月10日 延べ17日間 巡回健診車による受診者総数 1,413名 巡回健診車以外による受診者総数202名	被保険者の特定健康診査については、巡回健診を実施することで9割の被保険者が受診しており成功している。	地方の被保険者の健診受診率の引き上げを検討	5
	3	個別健診(人間ドック含む)	疾患の早期発見	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	16,860	通年実施	事業所を経由した働きかけを実施している 被扶養者へも受診券と合わせて実施 毎年受ける方がいる	・年々受診率が低下傾向にあり、健康診断と併せて効率を上げることを検討 健診機関・健診項目の見直しを検討	5
	3	婦人科健診	婦人科系疾患の早期発見	全て	女性	0～(上限なし)	加入者全員	1,282	*通年 【状況】 *子宮頸がん健診 191名 被保険者 44名 被扶養者 147名 *マンモグラフィ 230名 被保険者 58名 被扶養者 172名	前年度より婦人科健診の受診数が増加した。	20～31才の受診率の向上を検討	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
	3	インフルエンザ予防接種	インフルエンザの重症化予防	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	*令和4年10月1日～令和5年1月31日まで 補助金申請者 1,506名 被保険者 974名 被扶養者 532名	前年度よりも接種者を増やすことができた。	令和2年度より補助を開始したがコロナ禍でもありインフルエンザの流行はなかったため、今後の動向を見る	2
	8	家庭用常備薬配付	被保険者家族の健康維持	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	令和4年11月28日～12月2日 各事業所を通じ全被保険者へ配付	被保険者全員へ配付することができた。	阻害要因等は無し。	5
体育奨励	5	競技大会への補助	被保険者・被扶養者の健康増進のため	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	コロナ禍の為中止 0 運動会 中止 ボウリング大会 中止	コロナの為中止となった。	コロナの為中止となった。	1
直営保養所	8	契約保養所	利用者の心身のリフレッシュ	全て	男性	0～(上限なし)	加入者全員	通年 0 年間利用者数 0社 0名 コロナ禍により利用なし	利用者なし	利用者と宿泊先が限られており、利用方法を検討	1

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

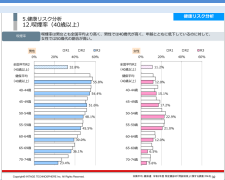



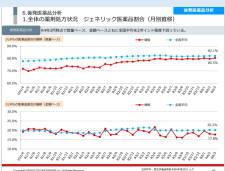
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%



事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
法定健診	-	-	-	~	-	-	-	-
ストレスチェック	-	-	-	~	-	-	-	-
雇入時健診	-	-	-	~	-	-	-	-

# STEP 1-3 基本分析

## 登録済みファイル一覧

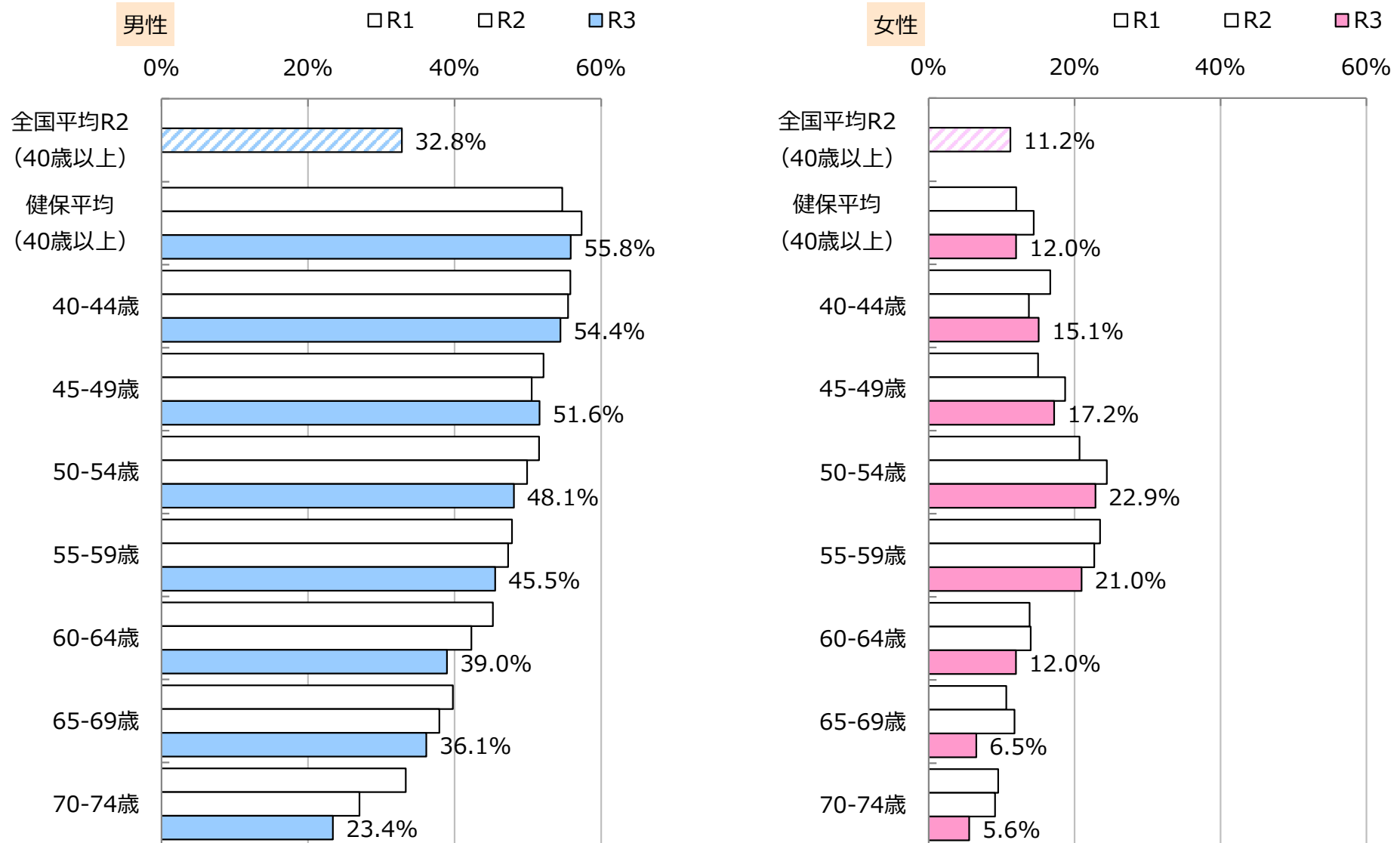
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		喫煙の状況	健康リスク分析	-
イ		特定健診・特定保健指導	特定健診分析	-
ウ		生活習慣リスク・生活習慣病重症化	健康リスク分析	-
エ		生活習慣（問診）分析	健康リスク分析	-
オ		後発医薬品使用促進	後発医薬品分析	-

## 5.健康リスク分析

### 12.喫煙率（40歳以上）

喫煙率

喫煙率は男女とも全国平均より高く、男性では40歳代が高く、年齢とともに低下しているのに対して、女性では50歳代の割合が高い。



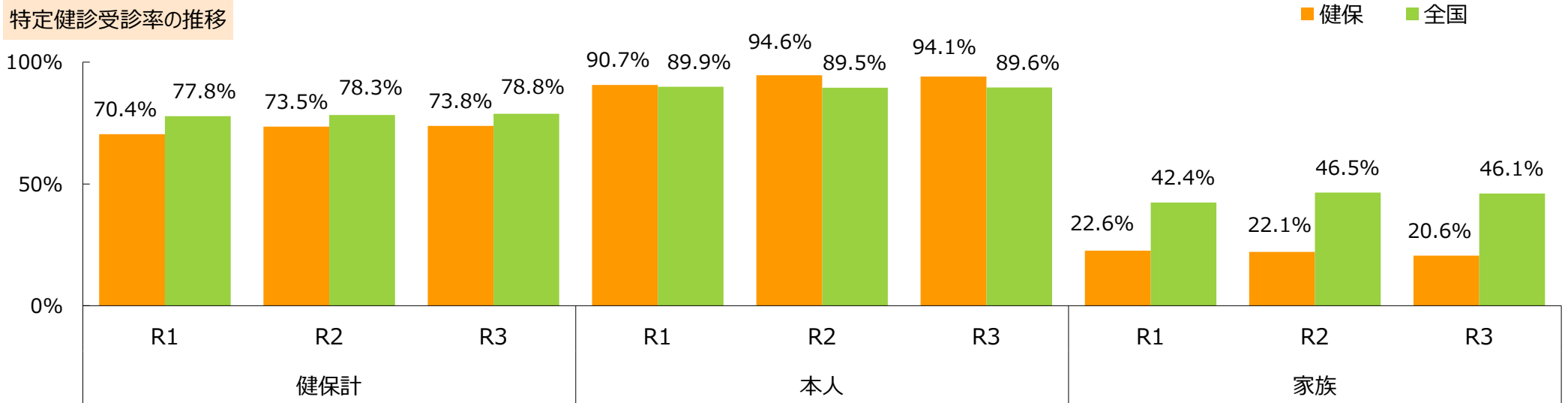
# 3. 特定健診

## 1. 特定健診受診率

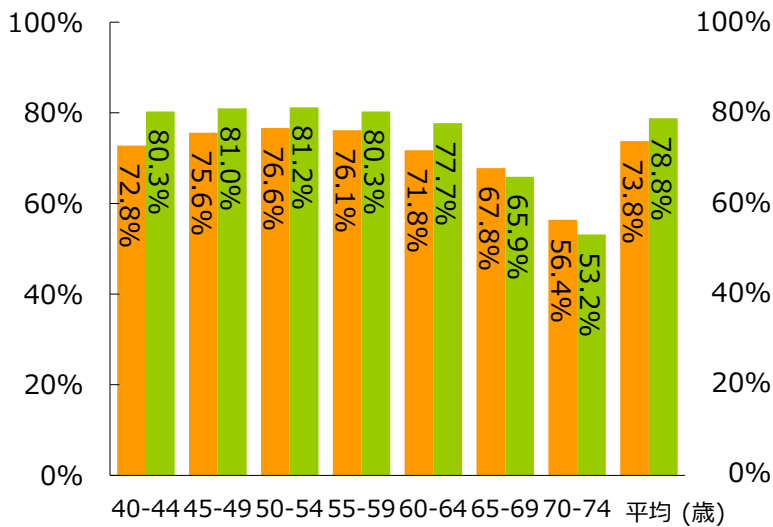
### 特定健診実施率

全体の受診率は年々増加しており、本人は全国平均を上回っている。  
一方家族の受診率は年々減少しており、全国を大きく下回っている。

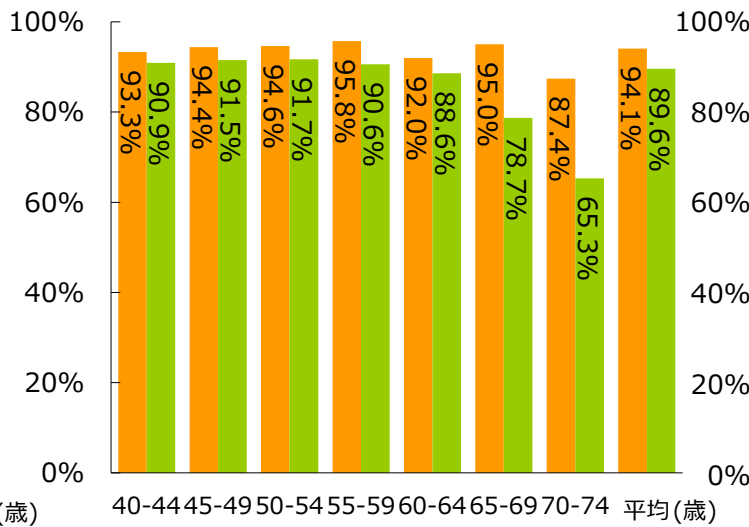
### 特定健診受診率の推移



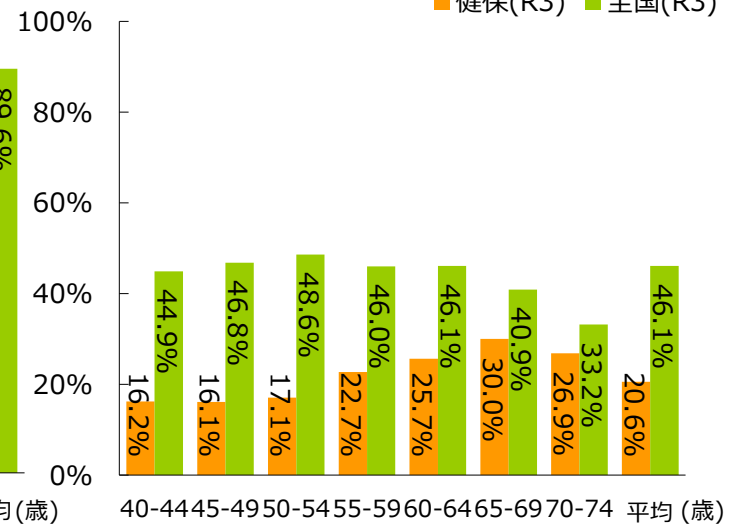
### 健保計



### 本人



### 家族



※特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、任意継続被保険者を含む

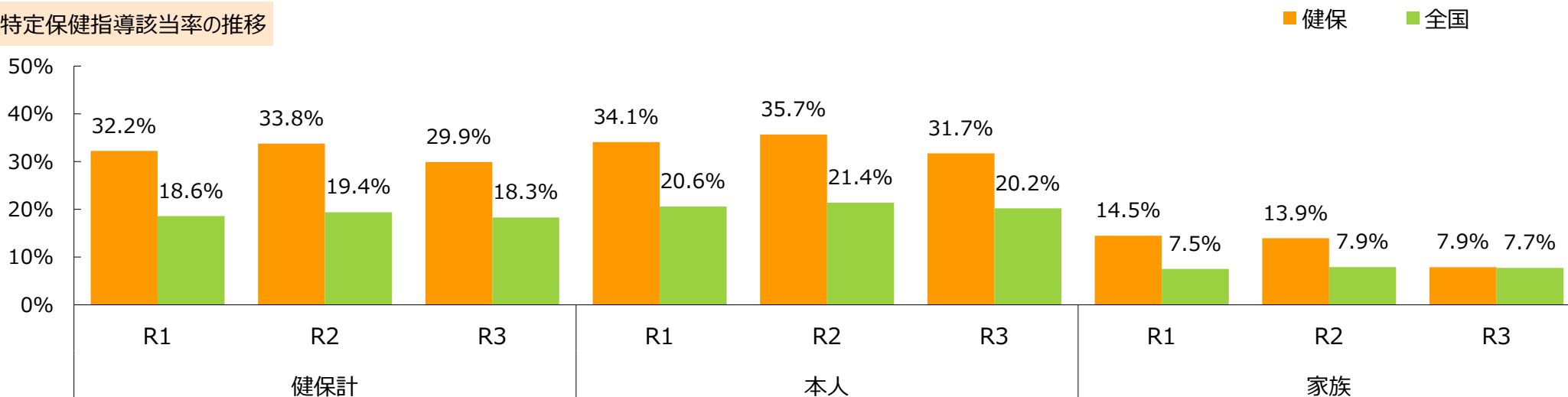
### 3. 特定健診

## 2. 特定保健指導該当者率（積極的支援、動機づけ支援該当者率）

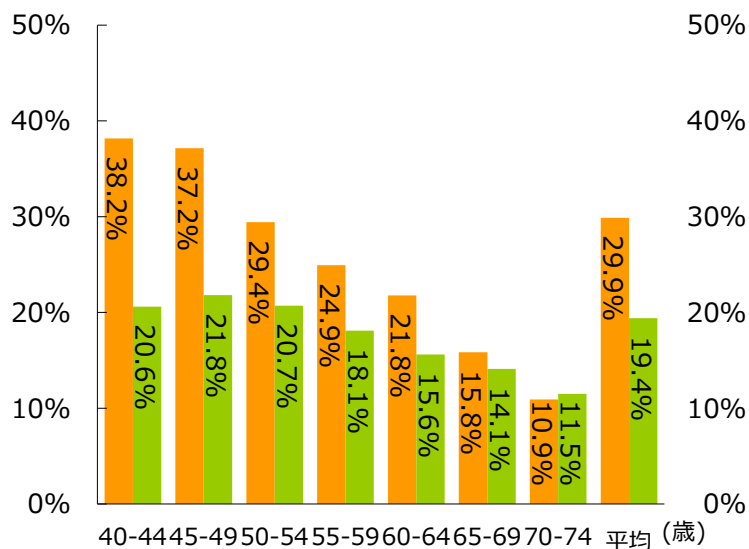
#### 特定保健指導該当者率

該当者率は前年より減少しているが、全国と比べて割合が高く、本人の40代は特に高くなっている。

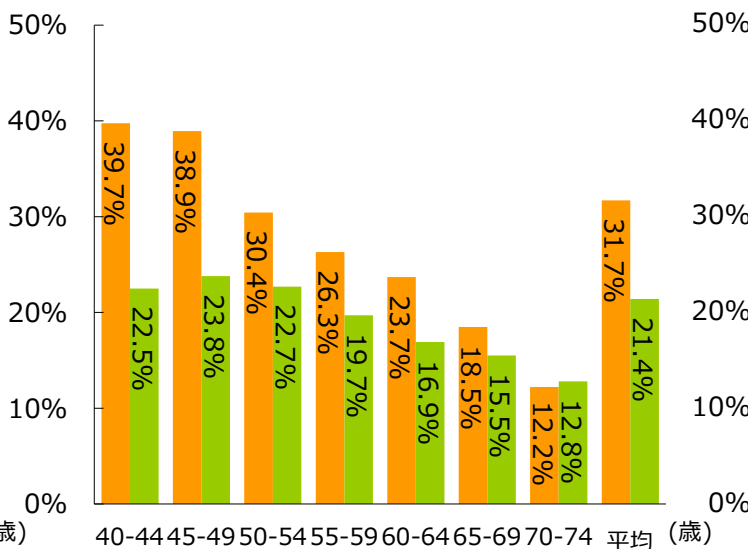
#### 特定保健指導該当率の推移



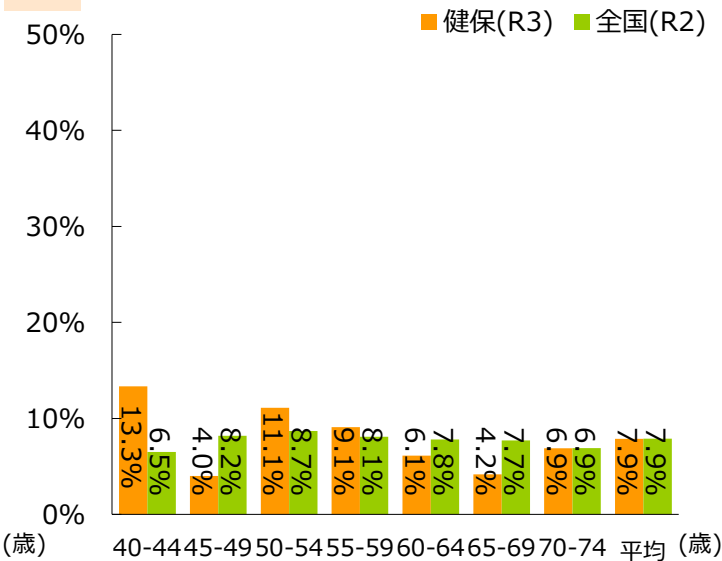
#### 健保計



#### 本人



#### 家族



※特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、任意継続被保険者を含む

## 5.健康リスク分析

### 1.生活習慣病リスク分布（リスクと疾病状況）

生活習慣病リスク分布

生活習慣病リスクでは本人の血糖、家族の血圧、脂質で前年より悪化している。生活習慣病で医療機関を受診している方は前年より増加、重症疾患の発症者の割合もやや増加しており、該当者数は心筋梗塞、慢性腎不全で増加している。重症疾患になる前の受診や生活習慣の改善が急がれる。

#### 不健康な生活習慣



内臓脂肪が蓄積し始める

	肥満	血糖	血圧	脂質
本人	47.9% (48.3%)	61.8% (55.6%)	55.3% (56.8%)	71.4% (72.7%)
家族	18.3% (21.9%)	43.8% (45.9%)	29.0% (28.4%)	55.1% (54.3%)
<b>メタボ該当・予備群該当</b>				
	本人 49.3%(51.1%)		家族 8.6% (10.6%)	



重症疾患発症リスクの悪化による入院

生活習慣病発症	糖尿病		高血圧症		脂質異常症	
	人数	(割合)	人数	(割合)	人数	(割合)
37.5% (36.9%)	984人	(931人)	1,747人	(1,701人)	1,521人	(1,500人)
	本人 779人	(729人)	本人 1,382人	(1,333人)	本人 1,181人	(1,150人)
	家族 205人	(202人)	家族 365人	(368人)	家族 340人	(350人)

心筋梗塞・脳卒中、糖尿病の合併症発症

重症疾患発症者		2.6% (2.4%)		
心筋梗塞	脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	慢性腎不全
18人 (11人)	67人 (67人)	11人 (14人)	5人 (5人)	78人 (74人)

※健康保険組合R3年度在籍者の35歳以上を対象として集計  
 (n=全体:6,626 本人:4,904 家族:1,722)  
 カッコ内は前年度 (R2年度 : n=6,651)  
 赤字は前年度より悪化

基準値	健診検査項目	保健指導判定値	単位	全国平均 40歳以上
肥満	腹囲	(男)85以上 (女)90以上	cm	40.8%
	BMI	25以上	kg/m <sup>2</sup>	
血糖判定	空腹時血糖	100以上	mg/dl	33.3%
	HbA1c(NGSP値)	5.6以上	%	
血圧判定	血圧(最高値)	130以上	mmHg	37.1%
	血圧(最低値)	85以上	mmHg	
脂質判定	中性脂肪	150以上	mg/dl	64.0%
	HDLコレステロール	39以下	mg/dl	
	LDLコレステロール	120以上	mg/dl	

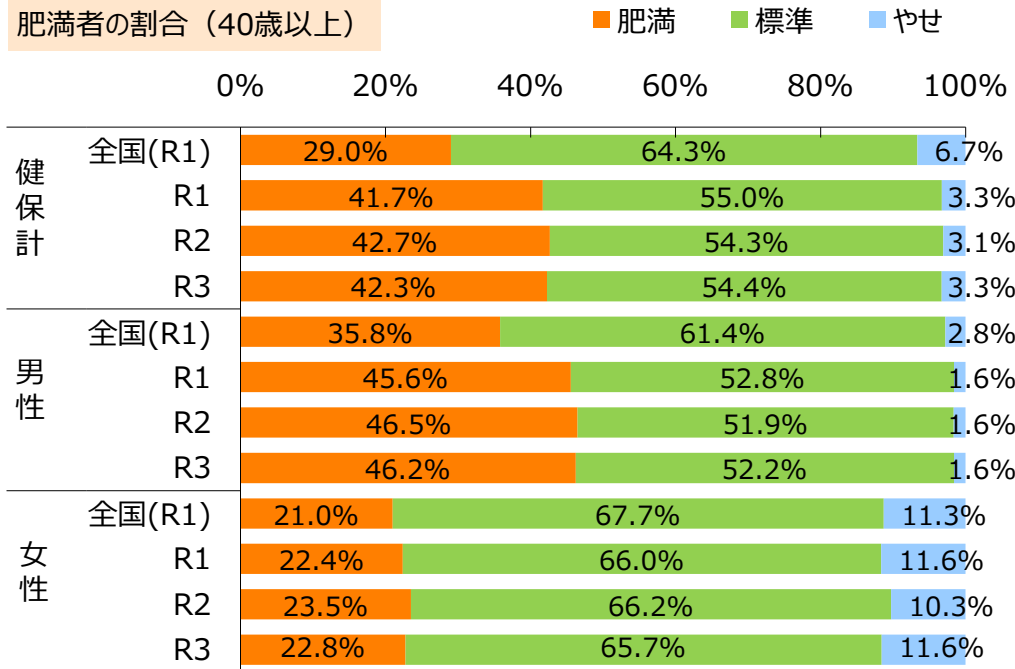
# 5.健康リスク分析

## 2.肥満者の割合 (BMI) (肥満・標準・やせ)

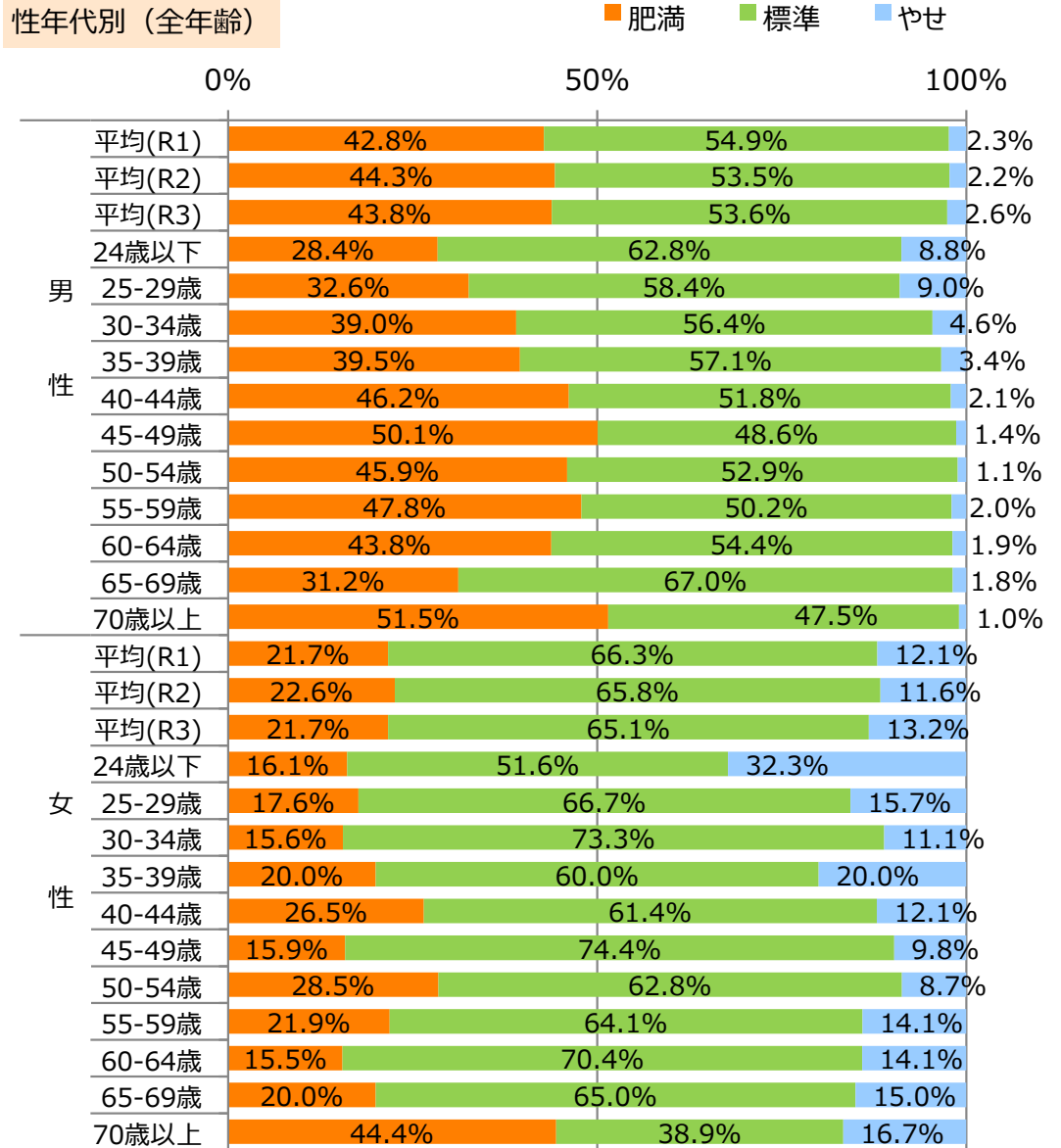
### 肥満者の割合

40歳以上全体の肥満者割合は全国平均より高く、特に本人の割合が高い。  
年代別で見ると、年齢とともに該当者割合が増加している。

肥満者の割合 (40歳以上)



性年代別 (全年齢)



	年度	該当者数 (人)			対象者
		肥満	標準	やせ	
健 保 計	R1	1,650	2,178	130	3,958
	R2	1,815	2,309	131	4,255
	R3	1,811	2,333	141	4,285
男 性	R1	1,502	1,742	53	3,297
	R2	1,648	1,839	58	3,545
	R3	1,646	1,857	57	3,560
女 性	R1	148	436	77	661
	R2	167	470	73	710
	R3	165	476	84	725

# 5.健康リスク分析

## 2.肥満者の割合 (BMI) (肥満・標準・やせ)

肥満者の割合

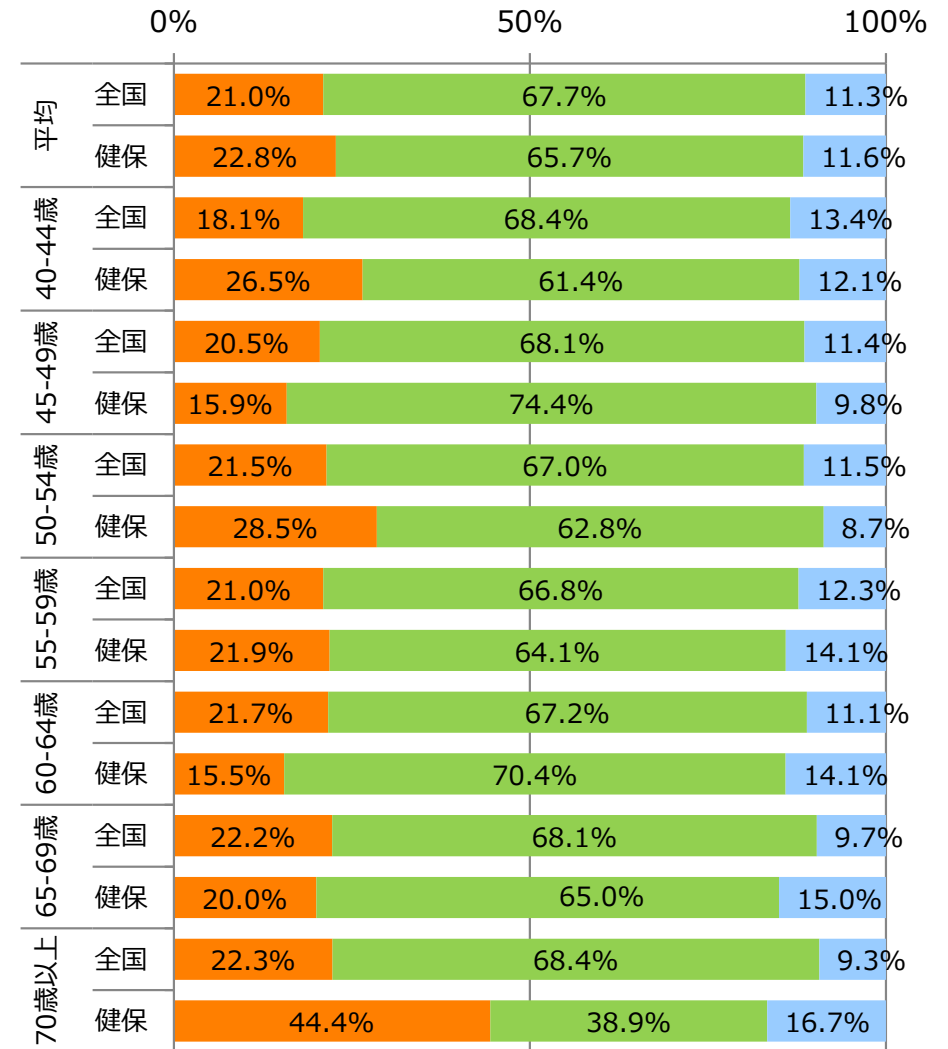
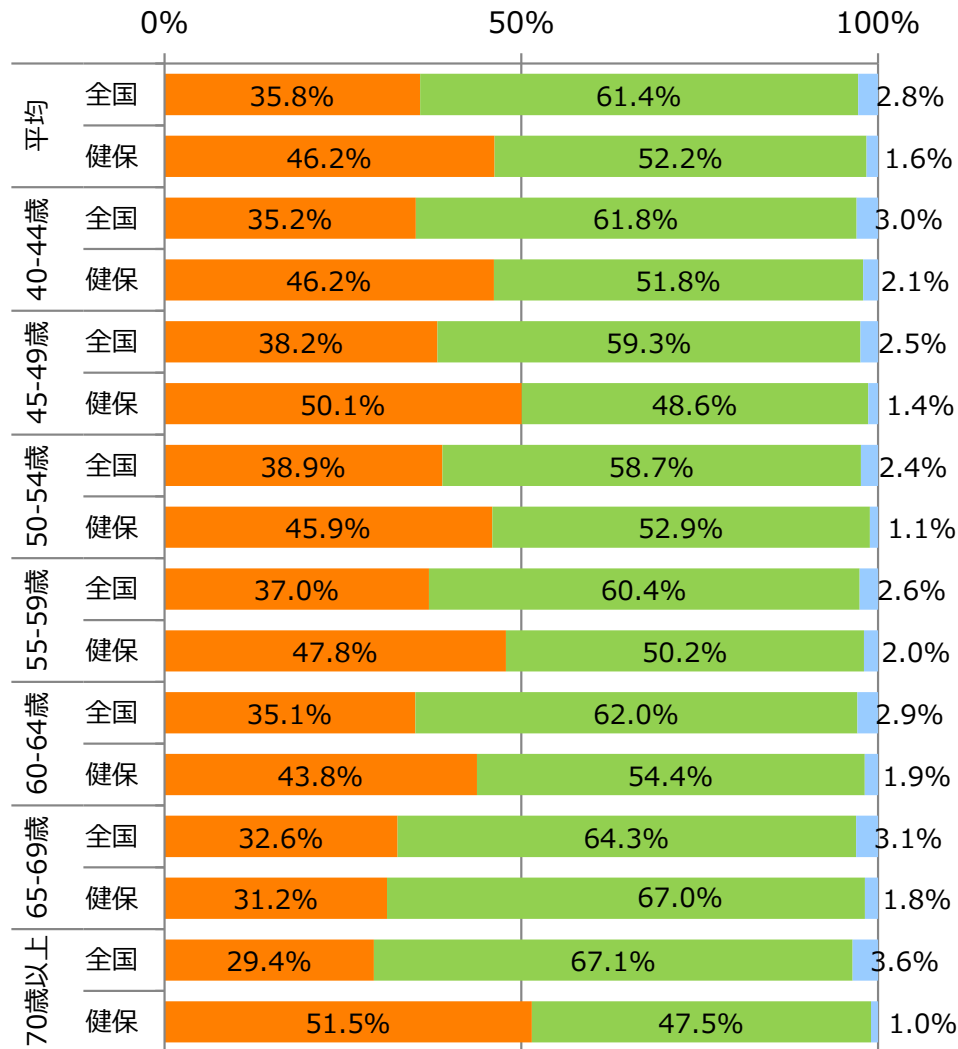
男性では65-69歳を除いてすべての年代で全国平均を大きく上回っている。  
女性では、40-44歳、50-54歳で割合が高い。

性年代別 (男性)

■ 肥満 ■ 標準 ■ やせ

性年代別 (女性)

■ 肥満 ■ 標準 ■ やせ



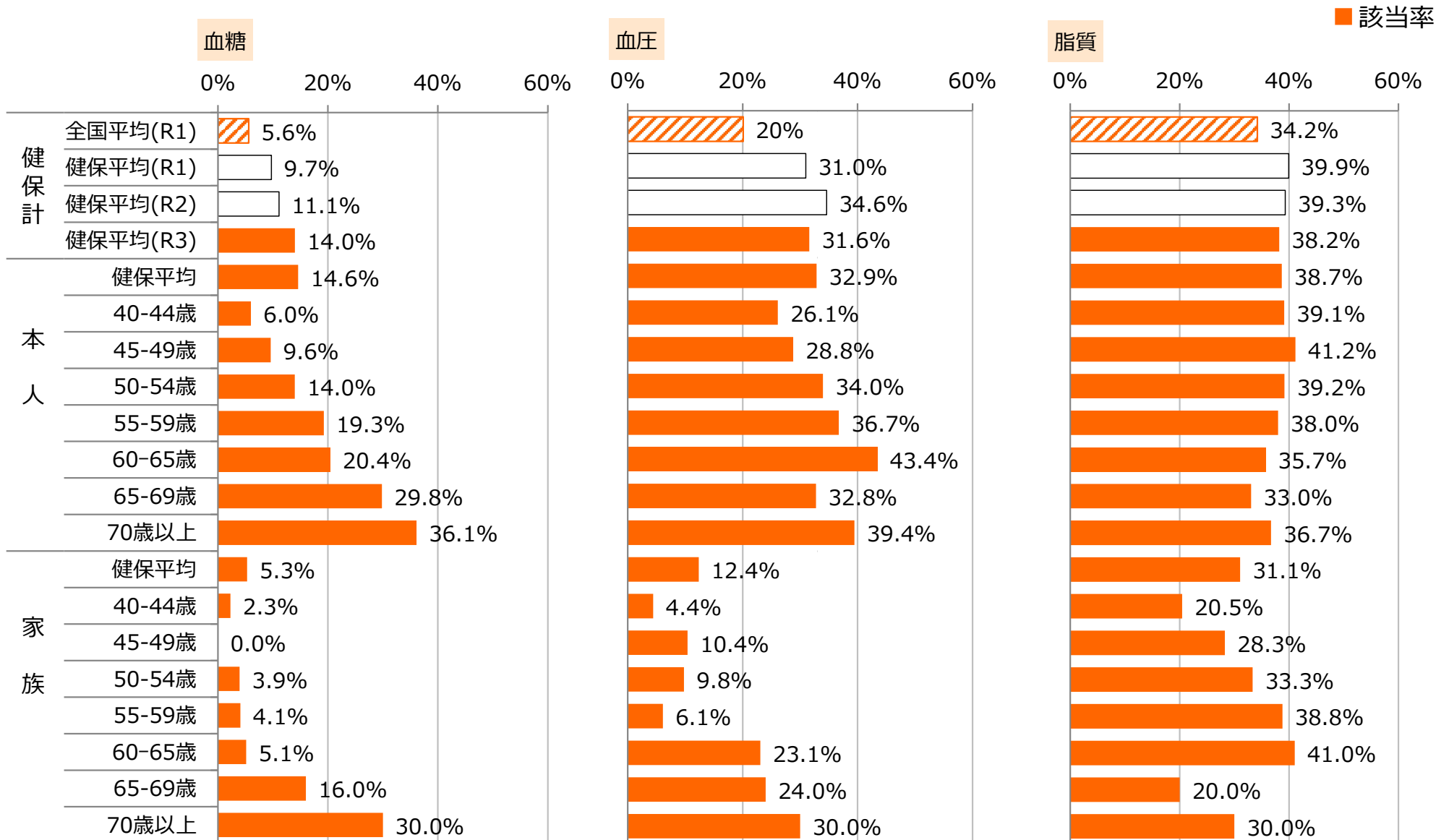


## 5.健康リスク分析

### 3.血糖・血圧・脂質の有所見率 性年代別 受診勧奨レベル以上該当 (R3年度)

血糖・血圧・脂質判定  
受診勧奨以上該当の割合

血糖、血圧、脂質とも全国平均より高く、血糖は年々増加している。  
血糖、血圧は年代とともに増加している。脂質は40歳代の割合が高くなっている。



# 5.健康リスク分析

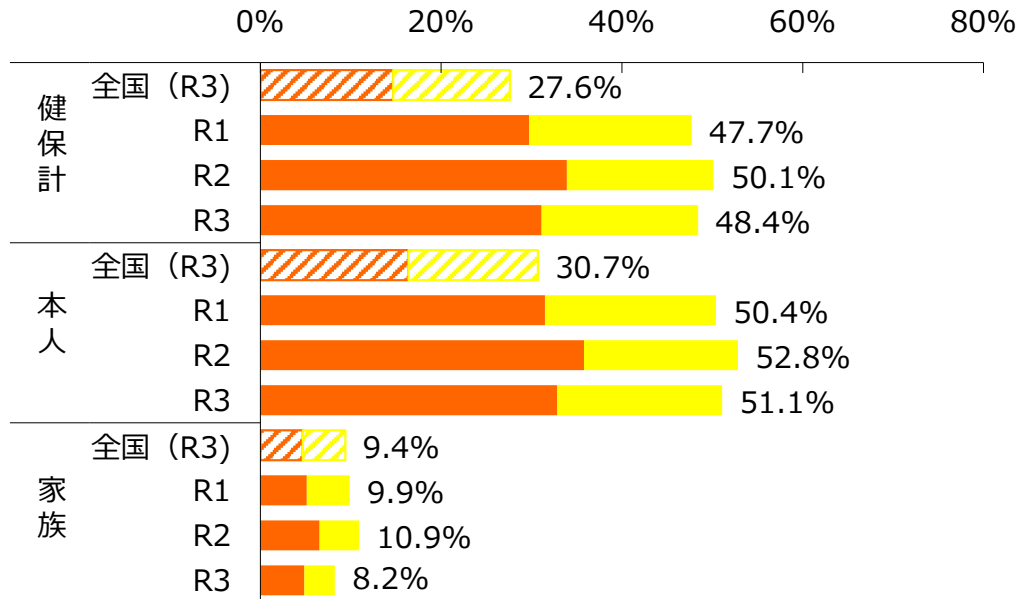
## 4-1.メタボリックシンドローム該当率

### メタボ該当率

該当率は全国を大きく上回っており、特に基準該当者の割合が高い。  
本人では、年代とともに基準該当者の割合が増加している。

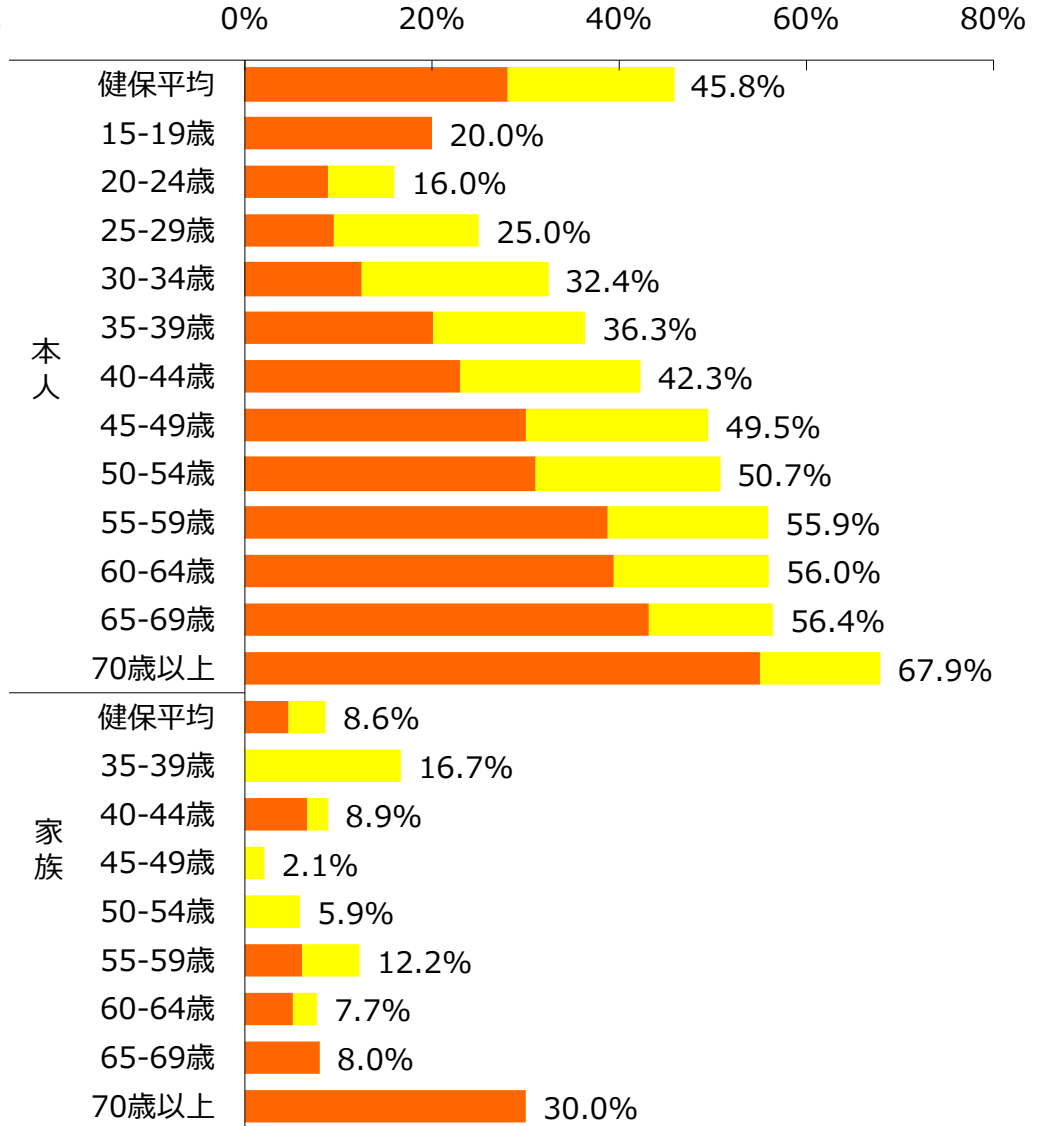
メタボ該当率（40歳以上）

■ 1:基準該当 ■ 2:予備群該当



メタボ該当率（全年齢）

■ 1:基準該当 ■ 2:予備群該当



40歳以上	年度	該当者数 (人)		
		基準該当率	予備群該当率	健診受診者数
健保計	R1	1,229	743	4132
	R2	1,448	693	4270
	R3	1,335	743	4291
本人	R1	1,215	730	3859
	R2	1,430	681	3995
	R3	1,322	734	4024
家族	R1	14	13	273
	R2	18	12	275
	R3	13	9	267

# 5.健康リスク分析

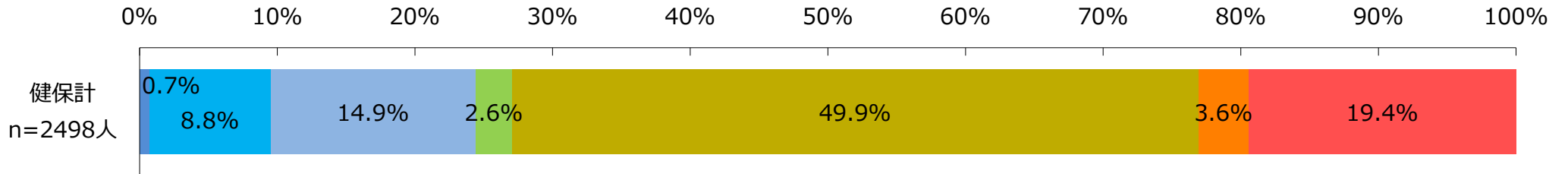
## 4-2.メタボリックシンドロームの内訳

### メタボ該当率

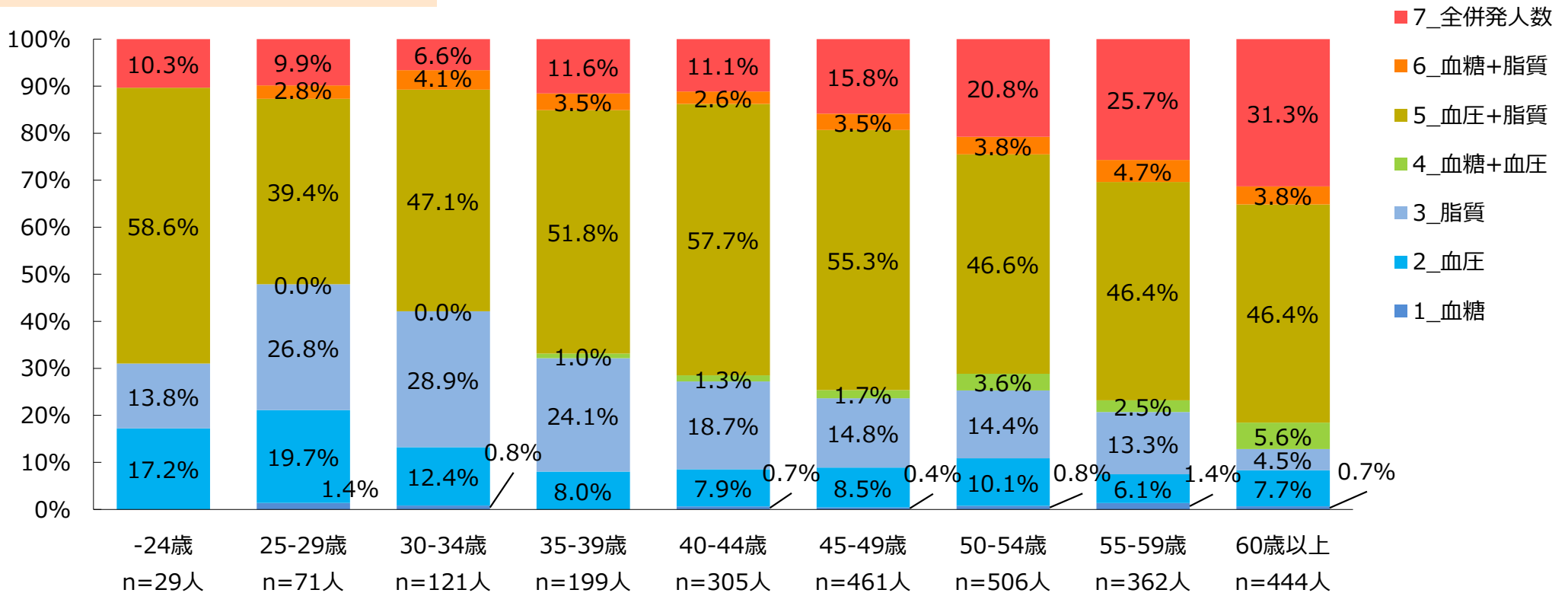
メタボ該当者（予備群該当、基準該当）のうち、血圧と脂質リスクのある方が約半分を占める。年代別で見ると、年齢が上がるにつれて3項目すべてでリスクがある方の割合が上昇している。

### メタボ該当者の生活習慣病リスク状況

■ 1\_血糖 ■ 2\_血圧 ■ 3\_脂質 ■ 4\_血糖+血圧 ■ 5\_血圧+脂質 ■ 6\_血糖+脂質 ■ 7\_全併発人数



### メタボ該当者の生活習慣病リスク状況（年代別）



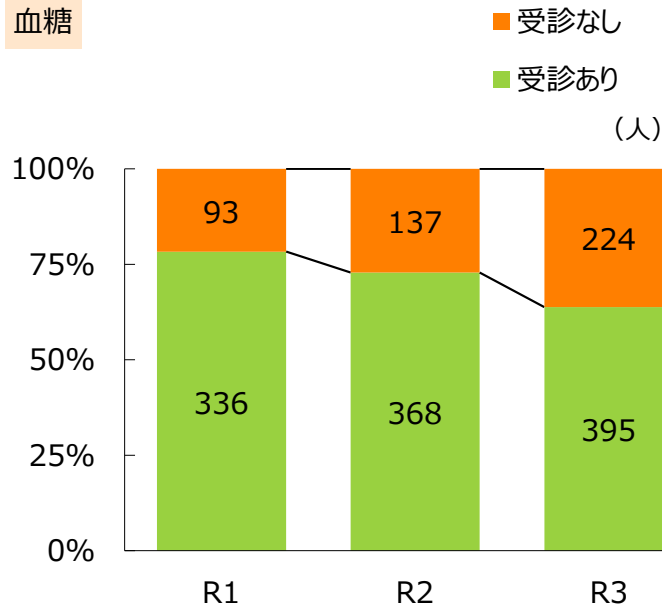
# 5.健康リスク分析

## 5.受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況

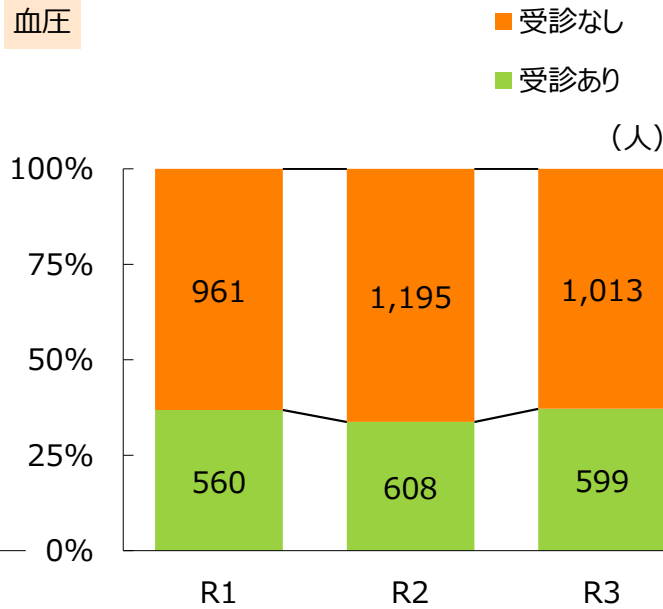
受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況

受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況をみると、受診なしの割合が血糖、脂質で増加している。血圧で約6割、脂質で3/4の方が未受診のままになっている。

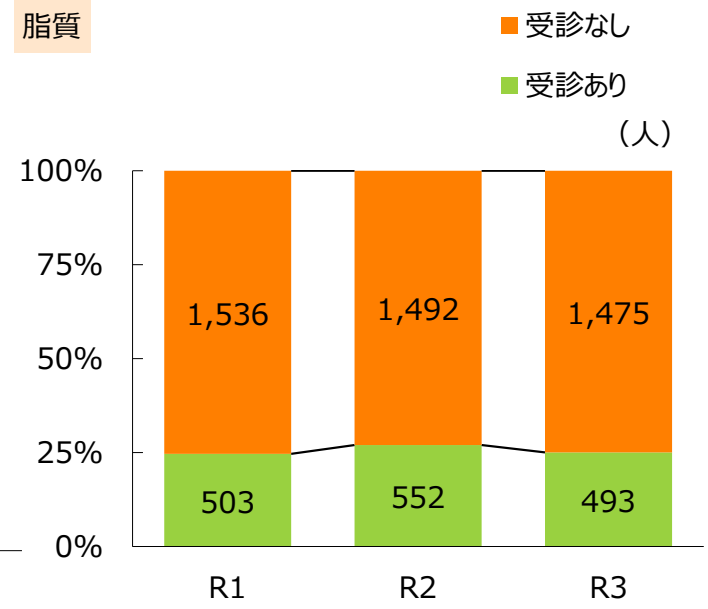
血糖



血圧



脂質



血糖	R1	R2	R3
受診なし	21.7%	27.1%	36.2%
受診あり	78.3%	72.9%	63.8%
該当者数 (人)	429	505	619

血圧	R1	R2	R3
受診なし	63.2%	66.3%	62.8%
受診あり	36.8%	33.7%	37.2%
該当者数 (人)	1,521	1,803	1,612

脂質	R1	R2	R3
受診なし	75.3%	73.0%	74.9%
受診あり	24.7%	27.0%	25.1%
該当者数 (人)	2,039	2,044	1,968

## 5.健康リスク分析

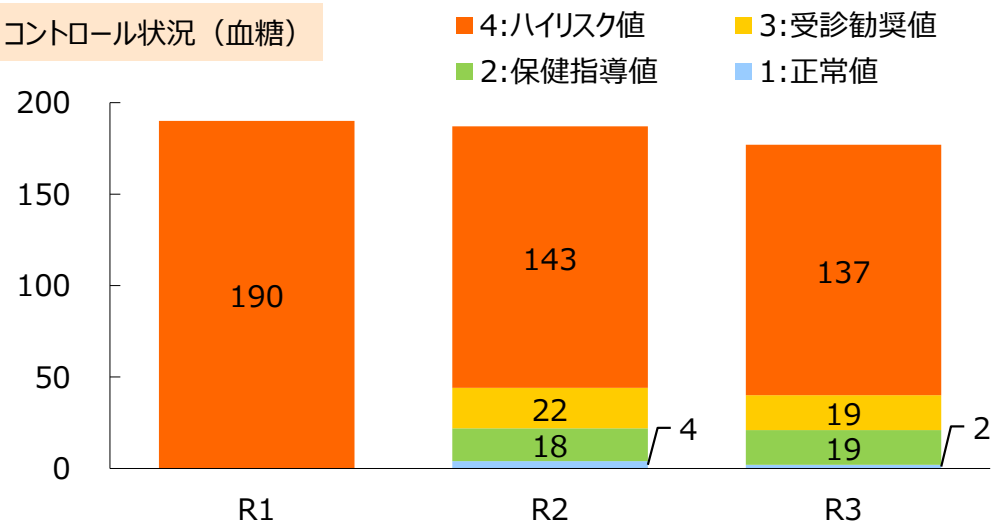
## 6.生活習慣病受療者のコントロール状況

生活習慣病受療者の  
コントロール状況

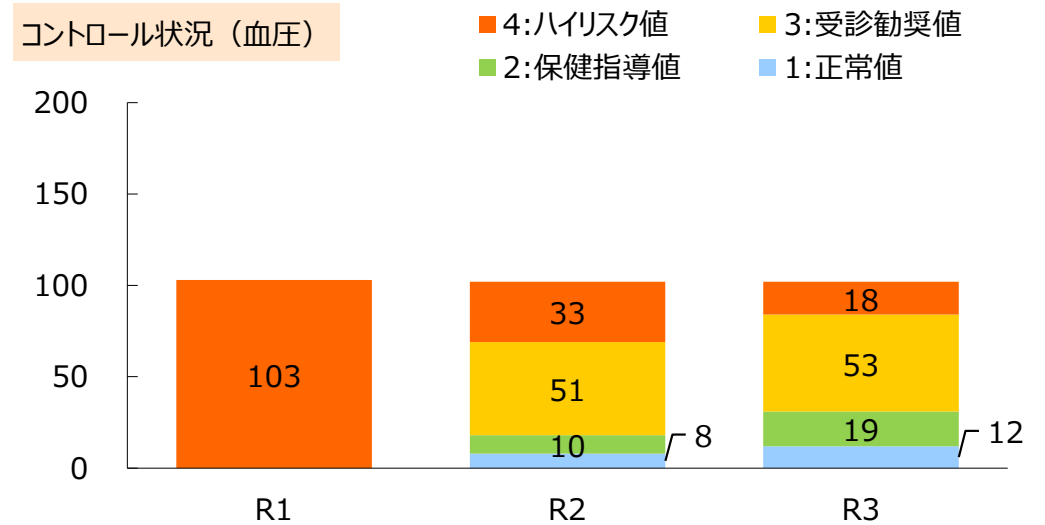
R1年度でハイリスクかつ受療ありの方のうち、血圧で8割以上、脂質で約7割の方がR1年度の状況より改善している。

- 糖尿病・高血圧症・脂質異常症の「ハイリスク」かつ受療ありの該当者のうちR3年度までのリスク状況の抽出

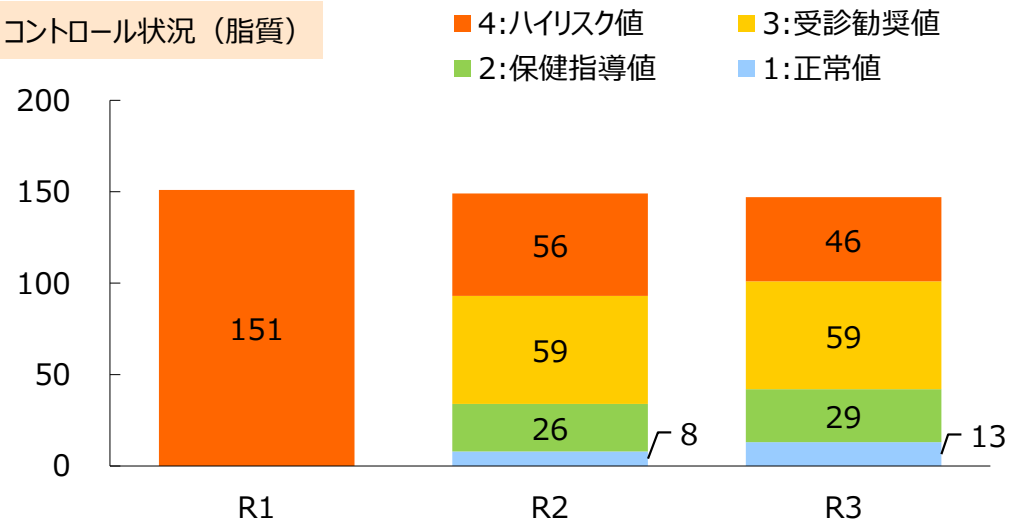
## コントロール状況（血糖）



## コントロール状況（血圧）



## コントロール状況（脂質）

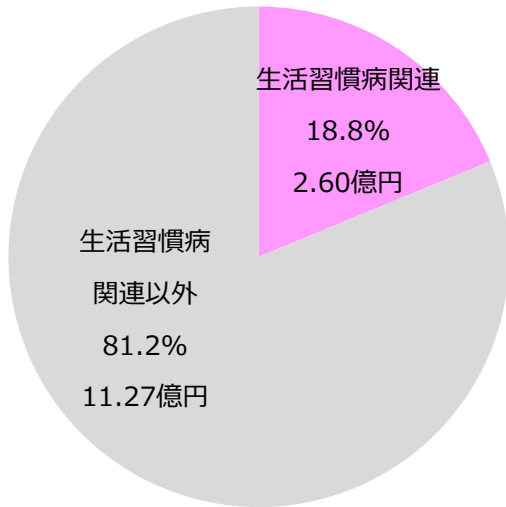


# 5.健康リスク分析

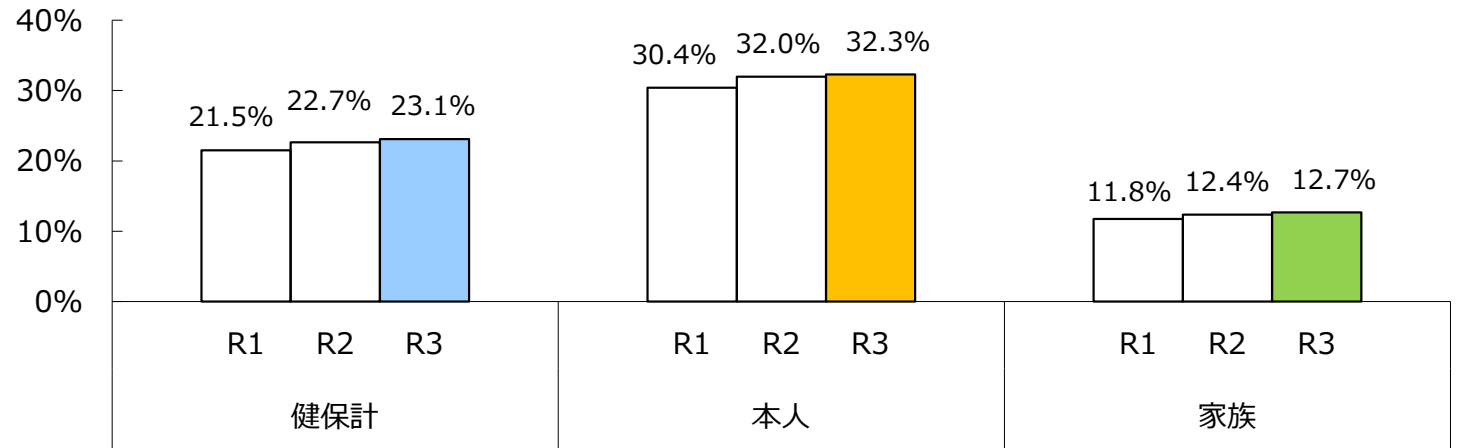
## 7.生活習慣病受診状況

### 生活習慣病受診状況

医療費では18.8%を占め、受診者は年々増加している。  
 40歳代から糖尿病、高血圧の医療費が増加しており、特に50歳代で医療費が高くなっている。  
 30歳代から腎不全があり、55歳～64歳の方で腎不全の医療費が高くなっている。



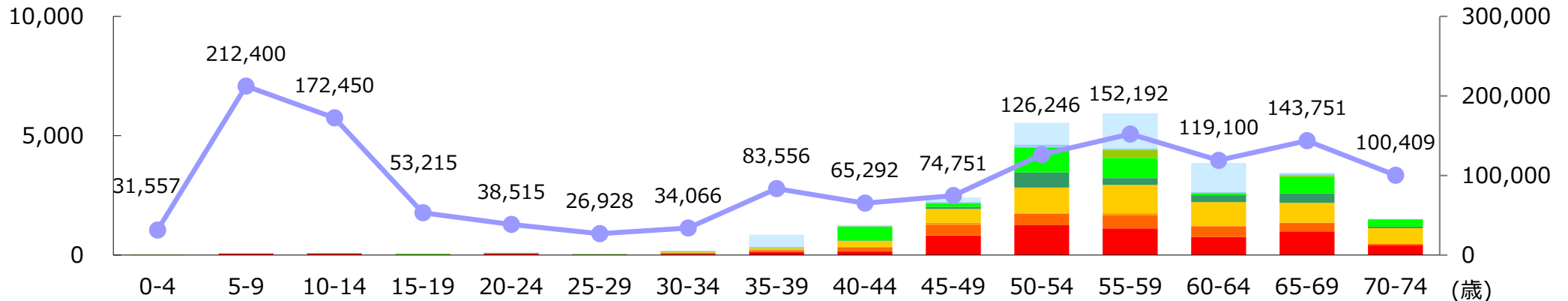
生活習慣病関連受診率



### 生活習慣病医療費 (万円)

- E10-E14:糖尿病
- E70-E90:代謝障害
- H30-H36:脈絡膜及び網膜の障害
- I10-I15:高血圧性疾患
- I20-I25:虚血性心疾患
- I60-I69:脳血管疾患
- I70-I79:動脈、細動脈及び毛細血管の疾患
- K70-K77:肝疾患
- N17-N19:腎不全
- 受診者1人当たり医療費

受診者  
1人当たり  
医療費  
(円)



## 5.健康リスク分析

## 8.重症疾患受診者の推移

## 重症疾患受診者の推移

虚血性心疾患、その他の心疾患の受診者数は増加しており、毎年65名、165名程度の新規受診がある。脳梗塞で毎年20名、腎不全で毎年約30名程度の新規受診がある。

- 重症疾患の受診者数および新規受診者数の推移は以下のとおり

(人)

重症疾患の発症状況	R1	R2		R3		
	受診者数	受診者数	うち新規	受診者数	うち新規	平均年齢 (新規)
0902:虚血性心疾患	244	239	(63)	250	(67)	54.3歳
0903:その他の心疾患	456	466	(165)	490	(164)	50.3歳
0904:くも膜下出血	3	7	(5)	8	(2)	54.5歳
0905:脳内出血	23	22	(4)	19	(3)	65.7歳
0906:脳梗塞	103	94	(21)	93	(23)	54.5歳
0907:脳動脈硬化(症)	2	1	-	2	(1)	42.0歳
1402:腎不全	77	85	(26)	100	(33)	55.1歳

その他の心疾患：不整脈、心不全、心房細動、心肥大など

# 5.健康リスク分析

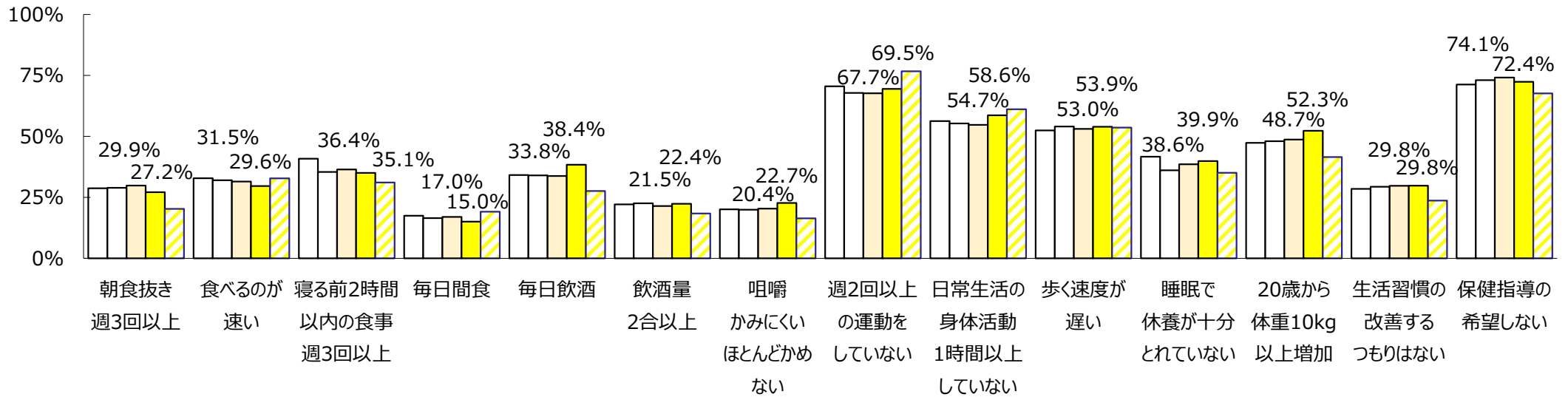
## 10.生活習慣の状況（問診結果より）全体

生活習慣の状況 全体

朝食抜き、毎日飲酒、咀嚼、体重増加、生活習慣の改善意志なしについて全国平均より高い。  
運動習慣については全国平均より低い。

健保全体

□ 健保全体 R1   □ 健保全体 R2   □ 健保全体 R3   ■ 健保全体 R3（40歳以上）   ▨ 健保全体 全国R2（40歳以上）





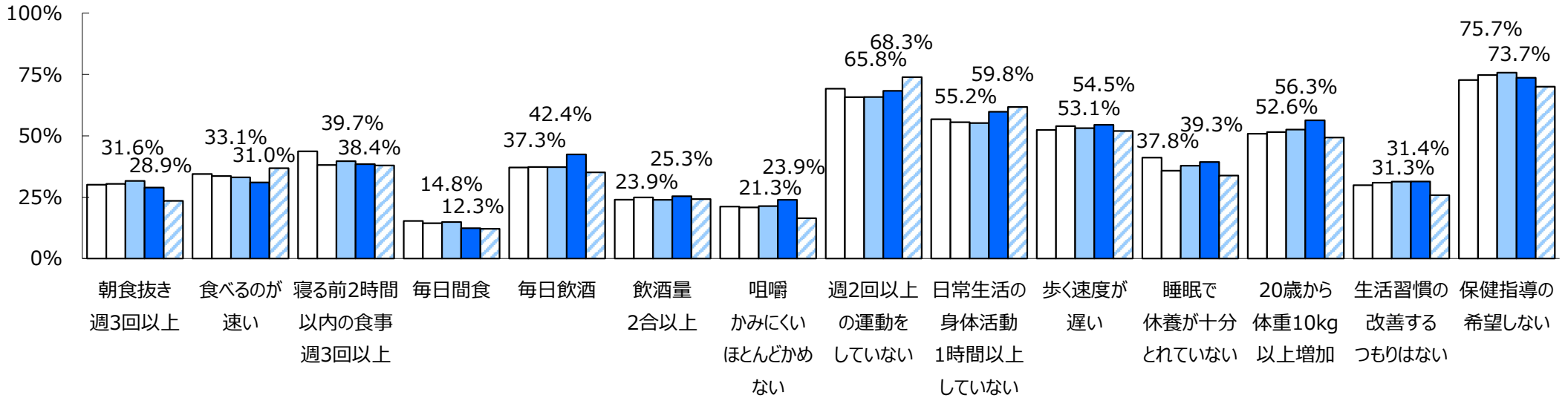
# 5.健康リスク分析

## 11.生活習慣の状況（問診結果より）男女別

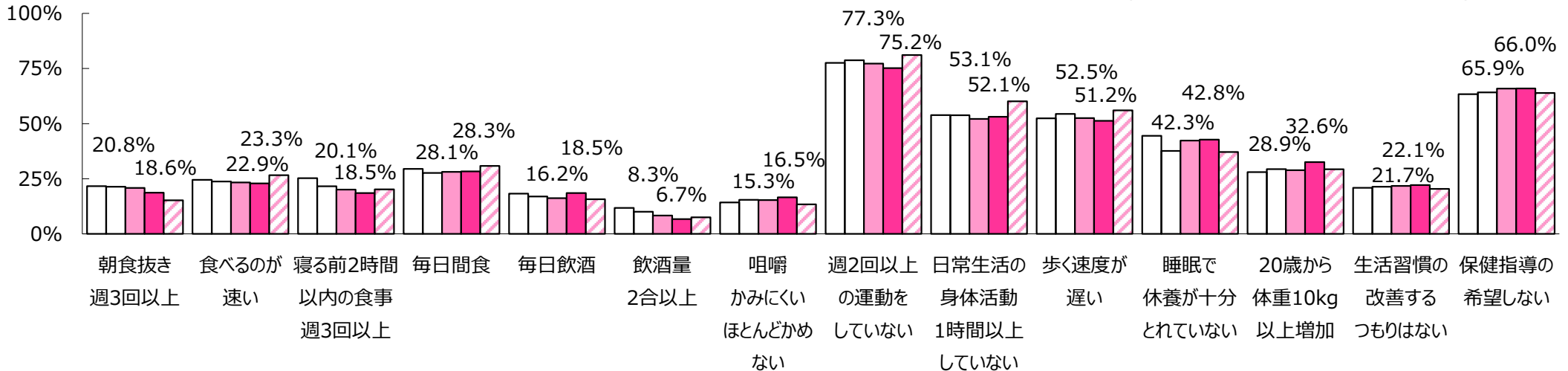
生活習慣の状況  
男女別

男性では朝食抜き、毎日飲酒、咀嚼、睡眠、体重増加、生活習慣の改善意志なしで全国より高く、女性では睡眠で全国より高い。男女とも、運動習慣は全国より低い。

男性



女性



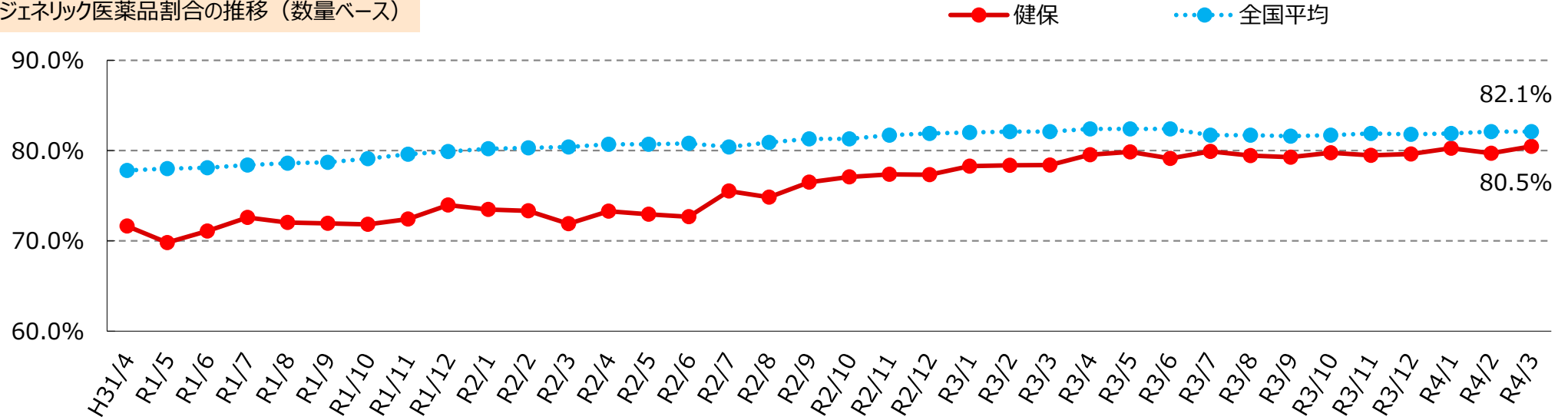
## 6.後発医薬品分析

### 1.全体の薬剤処方状況 ジェネリック医薬品割合（月別推移）

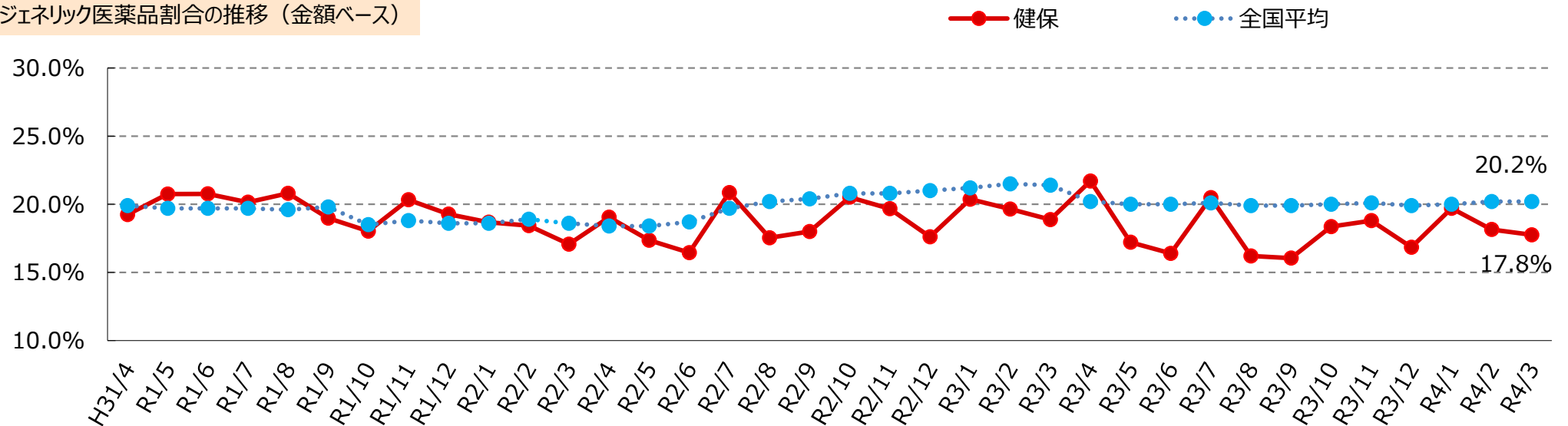
後発医薬品分析

R4年3月時点で数量ベース、金額ベースともに全国平均を2ポイント程度下回っている。

ジェネリック医薬品割合の推移（数量ベース）



ジェネリック医薬品割合の推移（金額ベース）

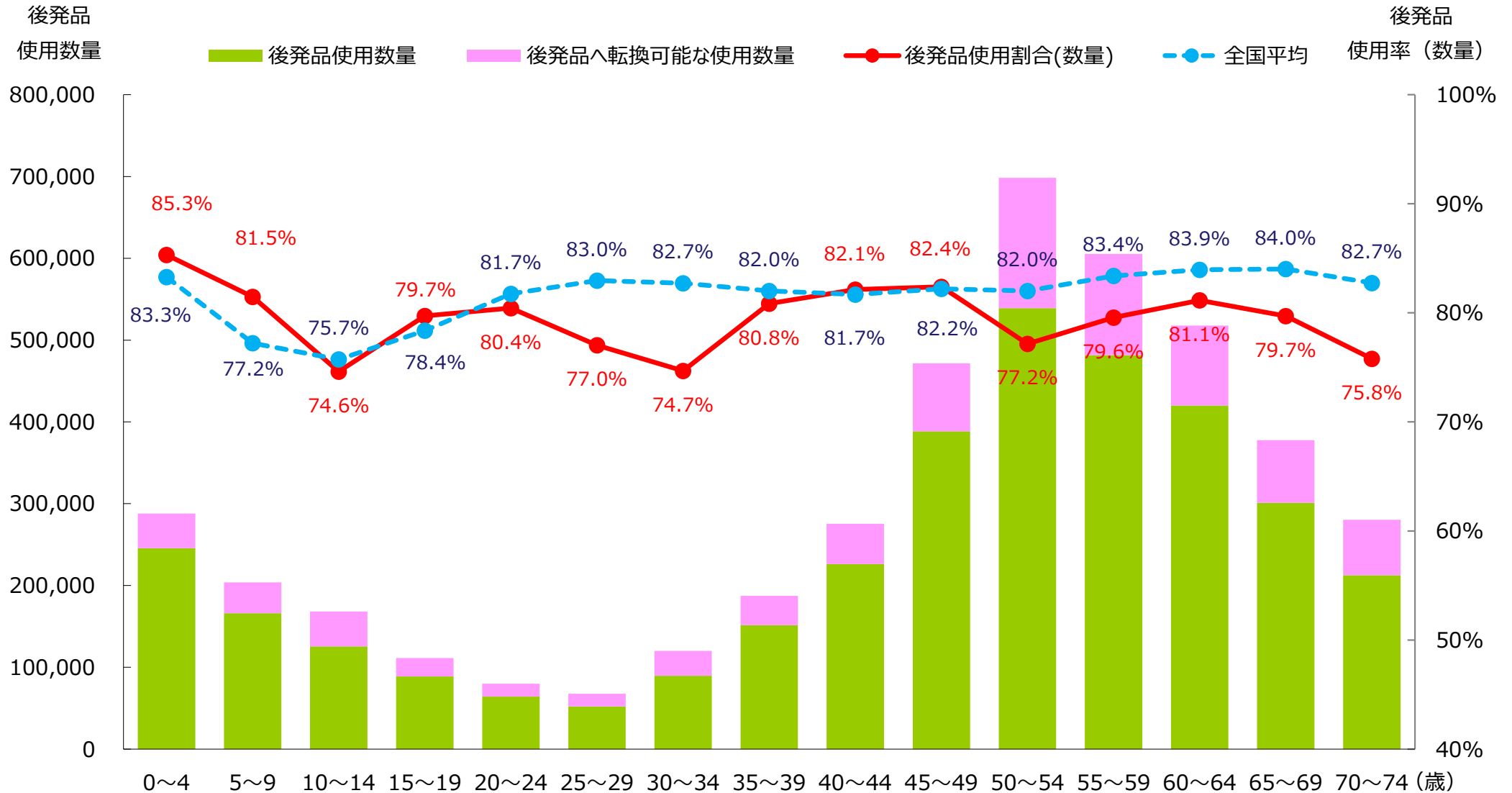


# 6.後発医薬品分析

## 2.全体の薬剤処方状況 ジェネリック医薬品割合（年代別）

後発医薬品分析

年代別では、25～34歳、50歳代以上の方で使用割合が全国平均を下回っており、50～54歳で後発品へ転換可能な数量が多くなっている。



## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女とも喫煙率が全国より高い。男性では、40歳代の喫煙率が高く、年代とともに減少するのに対し、女性では50歳代の喫煙率が高い。</li> </ul>	➔	禁煙率（特に男性の若年層）に向けた取り組みなどを検討 喫煙に関しては <ul style="list-style-type: none"> <li>会社への連携</li> <li>個人への啓発の実施</li> <li>禁煙指導の事業を検討</li> <li>禁煙外来への案内も実施</li> </ul>	
2	イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診実施率は年々増加し、本人は全国より高いが、家族は全国を大きく下回り、8割程度は未受診となっている。</li> <li>特定保健指導についてはほぼ実施がない状況が続いている。</li> </ul>	➔	基本となる受診率の向上（特に被保険者）並びに 特定保健指導の実施 事業のバリエーションの向上させる	✓
3	ウ	全体では、医療費はR2年度から増加しており、特に医科外来が大きく増加している。 医科入院については年々減少している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>血糖、血圧、脂質とも全国平均より高く、特に本人では、脂質の65歳以上を除く全年代、全リスクで全国平均より高い。</li> <li>メタボ該当率は全国平均を大きく上回り、本人では30歳代でも3割以上の方がメタボに該当している。</li> <li>受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況では、血糖で受診なしの割合が増加している。血圧で60%以上、脂質で70%以上が未受診のままになっている。</li> <li>生活習慣病関連を見ると医科医療費全体の18.8%を占めている。受診率は年々増加している。</li> <li>40歳以上で重症疾患の医療費も増えており、腎不全の方が30代でも発生している。</li> <li>生活習慣病の重症疾患の受診者も毎年一定数新規で発生。</li> </ul>	➔	30代からの健康リスク保有者、メタボ該当者に対する保健事業 受診勧奨以上対象者への受診勧奨・重症化予防を検討	
4	エ	男女とも生活習慣については似た傾向で、 食生活は、朝食抜きが全国より高いほかは全国平均より同程度か低い、 飲酒については全国より高くなっている。 運動習慣は全国平均より同程度か低い。 睡眠、体重増加、生活習慣の改善、保健指導の希望については全国より高い。	➔	飲酒習慣改善、飲酒量低減の取り組みなどを検討	
5	オ	R4年3月時点で数量ベース、金額ベースともに全国平均を2ポイント程度下回っている。	➔	後発医薬品対策の継続	

## 基本情報

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点
-----	----	--------------

<p>1 港湾労働勤務者が多く、 加入者数約1万2千名の総合組合。 事業所数86社であり中小規模の事業所が多く、拠点も点在している。 医療専門職が不在。</p>	<p>➔</p>	<p>指定医療機関との連携</p>
--	----------	-------------------

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	特定保健指導について、事業主経由で依頼をしているが参加率が伸び悩んでいる	➔	事業主のとの協力・理解を進める必要がある

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

加入者の健康維持・増進のために必要な情報を提供する

### 事業全体の目標

特定保健指導の実施率向上 XX%

事業所との連携による情報提供実施

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	健保事務担当者会議

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健康カレンダー配付
保健指導宣伝	パンフレット配付
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック薬品使用促進
保健指導宣伝	健保マイページ（健康情報の提供）
保健指導宣伝	検認

#### 個別の事業

特定健康診査事業	定期健康診査（特定健康診査/レディース健診含む）
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	一次健診（定期健康診断）
疾病予防	個別健診（人間ドック含む）
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	予防接種
疾病予防	家庭用常備薬配付
疾病予防	歯科健診
体育奨励	競技大会への補助
直営保養所	契約保養所

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
保健指導宣伝	1	既存	健康管理事業推進委員会	一部の事業所	男女	18～74	加入者全員	3	工	保健事業全般を検討・実施。また、保健事業に関する要望・意見交換。家庭常備薬の選定と配布協力の打ち合わせ。	ア	事業主との連携構築しやすい保健事業の検討・実施。	委員会を開催（年1回）委員から保健事業の要望のヒアリング実施	委員会を開催（年1回）委員から保健事業の要望のヒアリング実施	委員会を開催（年1回）委員から保健事業の要望のヒアリング実施	委員会を開催（年1回）委員から保健事業の要望のヒアリング実施	委員会を開催（年1回）委員から保健事業の要望のヒアリング実施	委員会を開催（年1回）委員から保健事業の要望のヒアリング実施	被保険者の特定保健指導、被扶養者の特定検査・特定保健指導の受診率・利用率を高める。医療費に関するコスト意識の向上。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女とも喫煙率が全国より高い。男性では、40歳代の喫煙率が高く、年代とともに減少するのに対し、女性では50歳代の喫煙率が高い。</li> <li>・特定健診実施率は年々増加し、本人は全国より高いが、家族は全国を大きく下回り、8割程度は未受診となっている。</li> <li>・特定保健指導についてはほぼ実施がない状況が続いている。</li> </ul> <p>全体では、医療費はR2年度から増加しており、特に医科外来が大きく増加している。医科入院については年々減少している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血糖、血圧、脂質とも全国平均より高く、特に本人では、脂質の65歳以上を除く全年代、全リスクで全国平均より高い。</li> <li>・メタボ該当率は全国平均を大きく上回り、本人では30歳代でも3割以上の方がメタボに該当している。</li> <li>・受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況では、血糖で受診なしの割合が増加している。血圧で60%以上、脂質で70%以上が未受診のままになっている。</li> <li>・生活習慣病関連を見ると医科医療費全体の18.8%を占めている。受診率は年々増加している。</li> <li>・40歳以上で重症疾患の医療費も増えており、腎不全の方が30代でも発生している。</li> <li>・生活習慣病の重症疾患の受診者も毎年一定数新規で発生。</li> </ul> <p>男女とも生活習慣については似た傾向で、食生活は、朝食抜きが全国より高いほかは全国平均より同程度か低い。飲酒については全国より高くなっている。運動習慣は全国平均より同程度か低い。睡眠、体重増加、生活習慣の改善、保健指導の希望については全国より高い。</p>
													健康管理事業推進委員会(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回) 受診状況の確認。ICT活用。対象者の抽出。参加促進。事業主との健康課題の共有。家庭常備薬の選定と配布協力の打ち合わせ。	ほかの事業で評価実施するため(アウトカムは設定されていません)	1,978	1,978	1,978	1,978		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
1	既存	健康事務担当者会議	全て	男女	18～74	加入者全員	3	ス	年2回健康事務担当者を対象に事務連絡会議を開催。	ア	事業所状況等について意見交換。	健保の活動内容の報告（法改正含む） 疾病状況等の共有	健保の活動内容の報告（法改正含む） 疾病状況等の共有	健保の活動内容の報告（法改正含む） 疾病状況等の共有	健保の活動内容の報告（法改正含む） 疾病状況等の共有	健保の活動内容の報告（法改正含む） 疾病状況等の共有	健保の活動内容の報告（法改正含む） 疾病状況等の共有	被保険者の特定保健指導、被扶養者の特定健康診査・特定保健指導の受診率・利用率を高める。 医療費に関するコスト意識の向上。 必要な健康教育。	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女とも喫煙率が全国より高い。男性では、40歳代の喫煙率が高く、年代とともに減少するのに対し、女性では50歳代の喫煙率が高い。</li> <li>特定健診実施率は年々増加し、本人は全国より高いが、家族は全国を大きく下回り、8割程度は未受診となっている。</li> <li>特定保健指導についてはほぼ実施がない状況が続いている。</li> </ul> <p>全体では、医療費はR2年度から増加しており、特に医科外来が大きく増加している。 医科入院については年々減少している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>血糖、血圧、脂質とも全国平均より高く、特に本人では、脂質の65歳以上を除く全年代、全リスクで全国平均より高い。</li> <li>メタボ該当率は全国平均を大きく上回り、本人では30歳代でも3割以上の方がメタボに該当している。</li> <li>受診動機以上該当者の医療機関受診状況では、血糖で受診なしの割合が増加している。血圧で60%以上、脂質で70%以上が未受診のままになっている。</li> <li>生活習慣病関連を見ると医科医療費全体の18.8%を占めている。受診率は年々増加している。</li> <li>40歳以上で重症疾患の医療費も増えており、腎不全の方が30代でも発生している。</li> <li>生活習慣病の重症疾患の受診者も毎年一定数新規で発生。</li> </ul> <p>男女とも生活習慣については似た傾向で、食生活は、朝食抜きが全国より高いほかは全国平均より同程度か低いが、飲酒については全国より高くなっている。 運動習慣は全国平均より同程度か低い。 睡眠、体重増加、生活習慣の改善、保健指導の希望については全国より高い。</p>	
健康事務担当者会議(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)参加の促進												ほかの事業で評価するため(アウトカムは設定されていません)								
加入者への意識づけ																				
5	既存	健康カレンダー配付	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ス	健康カレンダーの配付	ア	事業所の指定場所へ配送	配付の実施（11月～12月）	配付の実施（11月～12月）	配付の実施（11月～12月）	配付の実施（11月～12月）	配付の実施（11月～12月）	配付の実施（11月～12月）	加入者への意識づけ、健康教育。	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女とも生活習慣については似た傾向で、食生活は、朝食抜きが全国より高いほかは全国平均より同程度か低いが、飲酒については全国より高くなっている。</li> <li>運動習慣は全国平均より同程度か低い。</li> <li>睡眠、体重増加、生活習慣の改善、保健指導の希望については全国より高い。</li> </ul>	
配付のみのため(アウトプットは設定されていません)												配付のみのため(アウトカムは設定されていません)								
												1,591	1,591	1,591	1,591	1,591	1,591			



予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標												アウトカム指標													
5	既存		パンフレット配付	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	随時健保連発行の健康関連ポスター・「すこやか健保」を各事業所へ配付。「社会保険ブック」を全事業所に配付	シ	各事業所の被保険者数により配付。また、資格取得等の届け出により把握。	パンフレットの配付実施	パンフレットの配付実施	パンフレットの配付実施	パンフレットの配付実施	パンフレットの配付実施	パンフレットの配付実施	加入者への健康教育	男女とも生活習慣については似た傾向で、食生活は、朝食抜きが全国より高いほかは全国平均より同程度か低い。飲酒については全国より高くなっている。運動習慣は全国平均より同程度か低い。睡眠、体重増加、生活習慣の改善、保健指導の希望については全国より高い。					
配付のみのため (アウトプットは設定されていません)												配付のみのため (アウトカムは設定されていません)													
8	既存		医療費通知	全て	男女	0～74	基準該当者	1	エ	毎月ホームページに掲載	シ	基準を検討	全被保険者・被扶養者については、当組合ホームページ内の健保マイページへ毎月、医療費のお知らせをアップロードし閲覧する。	全被保険者・被扶養者については、当組合ホームページ内の健保マイページへ毎月、医療費のお知らせをアップロードし閲覧する。	全被保険者・被扶養者については、当組合ホームページ内の健保マイページへ毎月、医療費のお知らせをアップロードし閲覧する。	全被保険者・被扶養者については、当組合ホームページ内の健保マイページへ毎月、医療費のお知らせをアップロードし閲覧する。	全被保険者・被扶養者については、当組合ホームページ内の健保マイページへ毎月、医療費のお知らせをアップロードし閲覧する。	全被保険者・被扶養者については、当組合ホームページ内の健保マイページへ毎月、医療費のお知らせをアップロードし閲覧する。	加入者へコスト意識の教育	該当なし					
通知のみのため (アウトプットは設定されていません)												通知のみのため (アウトカムは設定されていません)													
7	既存		ジェネリック薬品使用促進	全て	男女	0～74	基準該当者	1	キ	4か月に1回の通知	シ	他保健者との比較等の検討	任継のみ直接郵送し、被保険者・被扶養者へは、当組合ホームページ内の健保マイページのジェネリック通知より閲覧する。	任継のみ直接郵送し、被保険者・被扶養者へは、当組合ホームページ内の健保マイページのジェネリック通知より閲覧する。	任継のみ直接郵送し、被保険者・被扶養者へは、当組合ホームページ内の健保マイページのジェネリック通知より閲覧する。	任継のみ直接郵送し、被保険者・被扶養者へは、当組合ホームページ内の健保マイページのジェネリック通知より閲覧する。	任継のみ直接郵送し、被保険者・被扶養者へは、当組合ホームページ内の健保マイページのジェネリック通知より閲覧する。	任継のみ直接郵送し、被保険者・被扶養者へは、当組合ホームページ内の健保マイページのジェネリック通知より閲覧する。	加入者へコスト意識の啓蒙。医療費の削減。後発医薬品の使用促進。	R4年3月時点で数量ベース、金額ベースともに全国平均を2ポイント程度下回っている。					
ジェネリック薬品使用促進(【実績値】3回 【目標値】令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)												後発品使用率(数量)(【実績値】81% 【目標値】令和6年度：85% 令和7年度：85% 令和8年度：85% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)						実施回数の増加							
先発薬との差額を明示																									
2	新規		健保マイページ(健康情報の提供)	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ	健保マイページにて発信	シ	-	毎月健康情報を発信し、健康意識付けを図る	毎月健康情報を発信し、健康意識付けを図る	毎月健康情報を発信し、健康意識付けを図る	毎月健康情報を発信し、健康意識付けを図る	毎月健康情報を発信し、健康意識付けを図る	毎月健康情報を発信し、健康意識付けを図る	毎月健康情報を発信し、健康意識付けを図る	加入者への健康意識付け	男女とも生活習慣については似た傾向で、食生活は、朝食抜きが全国より高いほかは全国平均より同程度か低い。飲酒については全国より高くなっている。運動習慣は全国平均より同程度か低い。睡眠、体重増加、生活習慣の改善、保健指導の希望については全国より高い。				
発信回数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-												(アウトカムは設定されていません)													
8	既存		検認	全て	男女	0～74	被扶養者	1	エ	中間サーバーを利用し、対象者を選定した後、対象者の現状及び収入調査	シ	-	中間サーバーを利用し検認し、対象者への確認文書を送付	中間サーバーを利用し検認し、対象者への確認文書を送付	中間サーバーを利用し検認し、対象者への確認文書を送付	中間サーバーを利用し検認し、対象者への確認文書を送付	中間サーバーを利用し検認し、対象者への確認文書を送付	中間サーバーを利用し検認し、対象者への確認文書を送付	中間サーバーを利用し検認し、対象者への確認文書を送付	被扶養者における就職等の資格確認	該当なし				
検認実施率(【実績値】-年)に2回実施												【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)						(アウトカムは設定されていません)							
個別の事業																									
												26,235						26,235							

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
特定健康診断事業	3,4	既存(法定)	定期健康診断(特定健康診断/レディース健診含む)	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員	1	イ	シ	契約健診機関への委託にて実施	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・被扶養者については巡回健診を実施(追加検査分は別途支出) ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配付し、通年受診可能とする。	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配付し、通年受診可能とする。 未受診者へはハガキにて受診勧奨の実施	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配付し、通年受診可能とする。 未受診者へはハガキにて受診勧奨の実施	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配付し、通年受診可能とする。 未受診者へはハガキにて受診勧奨の実施	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配付し、通年受診可能とする。 未受診者へはハガキにて受診勧奨の実施	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配付し、通年受診可能とする。 未受診者へはハガキにて受診勧奨の実施	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配付し、通年受診可能とする。 未受診者へはハガキにて受診勧奨の実施	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配付し、通年受診可能とする。 未受診者へはハガキにて受診勧奨の実施	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配付し、通年受診可能とする。 未受診者へはハガキにて受診勧奨の実施	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配付し、通年受診可能とする。 未受診者へはハガキにて受診勧奨の実施	特定健康診断の実施率向上加入者の健康維持	全体では、医療費はR2年度から増加しており、特に医科外来が大きく増加している。 医科入院については年々減少している。 ・血糖、血圧、脂質とも全国平均より高く、特に本人では、脂質の65歳以上を除く全年代、全リスクで全国平均より高い。 ・メタボ該当率は全国平均を大きく上回り、本人では30歳代でも3割以上の方がメタボに該当している。 ・受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況では、血糖で受診なしの割合が増加している。血圧で60%以上、脂質で70%以上が未受診のままになっている。 ・生活習慣病関連を見ると医科医療費全体の18.8%を占めている。受診率は年々増加している。 ・40歳以上で重症疾患の医療費も増えており、腎不全の方が30代でも発生している。 ・生活習慣病の重症疾患の受診者も毎年一定数新規で発生。
健診実施率(40歳以上)【実績値】77.1% 【目標値】令和6年度：79% 令和7年度：80% 令和8年度：81% 令和9年度：83% 令和10年度：84% 令和11年度：85%-												生活習慣リスク保有者率【実績値】49.9% 【目標値】令和6年度：49% 令和7年度：48% 令和8年度：47% 令和9年度：46% 令和10年度：45% 令和11年度：44%)メタボ予備群+該当者数の割合											
												内臓脂肪症候群該当者割合【実績値】31.8% 【目標値】令和6年度：31% 令和7年度：30% 令和8年度：29% 令和9年度：28% 令和10年度：27% 令和11年度：26%)-											
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員	1	ア,エ	シ	医療機関への委託。外部での郵送	対象者に案内実施、一部事業所へは訪問して依頼 R04年度より、医療機関での保健指導を開始	契約医療機関による人間ドック後に特定保健指導初回面談を行う。 特定保健指導委託事業所によるICT指導及び事業所訪問型指導・店舗による個別指導を実施。	契約医療機関による人間ドック後に特定保健指導初回面談を行う。 特定保健指導委託事業所によるICT指導及び事業所訪問型指導・店舗による個別指導を実施。	契約医療機関による人間ドック後に特定保健指導初回面談を行う。 特定保健指導委託事業所によるICT指導及び事業所訪問型指導・店舗による個別指導を実施。	契約医療機関による人間ドック後に特定保健指導初回面談を行う。 特定保健指導委託事業所によるICT指導及び事業所訪問型指導・店舗による個別指導を実施。	契約医療機関による人間ドック後に特定保健指導初回面談を行う。 特定保健指導委託事業所によるICT指導及び事業所訪問型指導・店舗による個別指導を実施。	契約医療機関による人間ドック後に特定保健指導初回面談を行う。 特定保健指導委託事業所によるICT指導及び事業所訪問型指導・店舗による個別指導を実施。	契約医療機関による人間ドック後に特定保健指導初回面談を行う。 特定保健指導委託事業所によるICT指導及び事業所訪問型指導・店舗による個別指導を実施。	生活習慣病リスク保有者の生活習慣改善	・男女とも喫煙率が全国より高い。 男性では、40歳代の喫煙率が高く、年代とともに減少するのに対し、女性では50歳代の喫煙率が高い。 ・特定健診実施率は年々増加し、本人は全国より高いが、家族は全国を大きく下回り、8割程度は未受診となっている。 ・特定保健指導についてはほぼ実施がない状況が続いている。		
特定保健指導実施率【実績値】6.6% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：15% 令和8年度：20% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：30%-												特定保健指導対象者割合【実績値】28.8% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：18% 令和9年度：18% 令和10年度：16% 令和11年度：15%)-											
												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率【実績値】15.6% 【目標値】令和6年度：25% 令和7年度：24% 令和8年度：23% 令和9年度：22% 令和10年度：21% 令和11年度：20%)-											
												腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1% 令和7年度：1% 令和8年度：2% 令和9年度：2% 令和10年度：3% 令和11年度：3%)-											
疾病予防	3	既存(法定)	一次健診(定期健康診断)	全て	男女	18～40	被保険者	2	ケ,サ	ア	-	第1期・第2期(特殊健診)で実施 巡回健診以外の対象者は補助金申請にて実施	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配布し、通年受診可能とする。	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配布し、通年受診可能とする。	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配布し、通年受診可能とする。	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配布し、通年受診可能とする。	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配布し、通年受診可能とする。	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配布し、通年受診可能とする。	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配布し、通年受診可能とする。	・事業所所属被保険者については、巡回健診車による定期健康診断に含め実施、それ以外で受診した場合は補助金を支給 ・任意継続被保険者及び被扶養者については、「受診券」とリーフレットを配布し、通年受診可能とする。	加入被保険者の健康維持・管理	全体では、医療費はR2年度から増加しており、特に医科外来が大きく増加している。 医科入院については年々減少している。 ・血糖、血圧、脂質とも全国平均より高く、特に本人では、脂質の65歳以上を除く全年代、全リスクで全国平均より高い。 ・メタボ該当率は全国平均を大きく上回り、本人では30歳代でも3割以上の方がメタボに該当している。 ・受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況では、血糖で受診なしの割合が増加している。血圧で60%以上、脂質で70%以上が未受診のままになっている。 ・生活習慣病関連を見ると医科医療費全体の18.8%を占めている。受診率は年々増加している。 ・40歳以上で重症疾患の医療費も増えており、腎不全の方が30代でも発生している。 ・生活習慣病の重症疾患の受診者も毎年一定数新規で発生。	
健診受診率(被保険者)【実績値】83.9% 【目標値】令和6年度：85% 令和7年度：86% 令和8年度：87% 令和9年度：88% 令和10年度：89% 令和11年度：90%)40歳未満の受診率												有所見率【実績値】23% 【目標値】令和6年度：23% 令和7年度：23% 令和8年度：22% 令和9年度：22% 令和10年度：21% 令和11年度：20%)総合判定にて有所見となる方の割合(健保様確認)											
受診者 1,390/対象者1,656 ※雇入健診実施者は未実施となる																							

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存		個別健診(人間ドック含む)	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ケ	脳ドック(CT/MRI)・消化器・循環器・半日ドック・ミニドックの費用補助の実施	シ	-	健診受診での補助金の支給 健診の一部に事業所より費用の補助実施	健診受診での補助金の支給 健診の一部に事業所より費用の補助実施	健診受診での補助金の支給 健診の一部に事業所より費用の補助実施	健診受診での補助金の支給 健診の一部に事業所より費用の補助実施	健診受診での補助金の支給 健診の一部に事業所より費用の補助実施	健診受診での補助金の支給 健診の一部に事業所より費用の補助実施	疾患の早期発見	全体では、医療費はR2年度から増加しており、特に医科外来が大きく増加している。 医科入院については年々減少している。 ・血糖、血圧、脂質とも全国平均より高く、特に本人では、脂質の65歳以上を除く全年代、全リスクで全国平均より高い。 ・メタボ該当率は全国平均を大きく上回り、本人では30歳代でも3割以上の方がメタボに該当している。 ・受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況では、血糖で受診なしの割合が増加している。血圧で60%以上、脂質で70%以上が未受診のままになっている。 ・生活習慣病関連を見ると医科医療費全体の18.8%を占めている。受診率は年々増加している。 ・40歳以上で重症疾患の医療費も増えており、腎不全の方が30代でも発生している。 ・生活習慣病の重症疾患の受診者も毎年一定数新規で発生。
案内の実施(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												- 消化器/循環器/脳ドック(CT)健診受診者数(【実績値】19人 【目標値】 令和6年度：25人 令和7年度：25人 令和8年度：25人 令和9年度：25人 令和10年度：25人 令和11年度：25人)消化器/循環器/脳ドック(CT)の合計								
-												- ミニドック受診者数(【実績値】84人 【目標値】 令和6年度：80人 令和7年度：80人 令和8年度：80人 令和9年度：80人 令和10年度：80人 令和11年度：80人)								
-												- 半日ドック/脳ドック(MRI)受診者数(【実績値】604人 【目標値】 令和6年度：600人 令和7年度：600人 令和8年度：600人 令和9年度：600人 令和10年度：600人 令和11年度：600人)半日ドック/脳ドック(MRI)の合計								
3	既存		婦人科健診	全て	女性	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	子宮・乳がん検診の補助を実施	シ	-	健診受診で補助金を支給	健診受診で補助金を支給	健診受診で補助金を支給	健診受診で補助金を支給	健診受診で補助金を支給	健診受診で補助金を支給	婦人科系疾患の早期発見	該当なし
案内実施(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)												- 子宮頸がん受診者数(【実績値】191人 【目標値】 令和6年度：195人 令和7年度：195人 令和8年度：195人 令和9年度：195人 令和10年度：195人 令和11年度：195人)								
-												- マンモグラフィー受診者数(【実績値】230人 【目標値】 令和6年度：230人 令和7年度：230人 令和8年度：230人 令和9年度：230人 令和10年度：230人 令和11年度：230人)								
8	既存		予防接種	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ケ	10月-1月まで実施1,000円補助	シ	-	事業所への通知の実施申請に基づき補助金を支給	事業所への通知の実施申請に基づき補助金を支給	事業所への通知の実施申請に基づき補助金を支給	事業所への通知の実施申請に基づき補助金を支給	事業所への通知の実施申請に基づき補助金を支給	事業所への通知の実施申請に基づき補助金を支給	インフルエンザの重症化予防	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
申請件数(【実績値】1,506件 【目標値】 令和6年度：2,116件 令和7年度：2,116件 令和8年度：2,116件 令和9年度：2,116件 令和10年度：2,116件 令和11年度：2,116件)												- インフルエンザ罹患患者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：-1% 令和7年度：-1% 令和8年度：-1% 令和9年度：-1% 令和10年度：-1% 令和11年度：-1%)前年比-1%(疑い病名も含む)								
5	既存(法定)		家庭用常備薬配付	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ケ	夏から秋にかけてアンケート実施希望の高いものを組み合わせて配付	ア	-	各事業所を通じ全被保険者へ配布	各事業所を通じ全被保険者へ配布	各事業所を通じ全被保険者へ配布	各事業所を通じ全被保険者へ配布	各事業所を通じ全被保険者へ配布	各事業所を通じ全被保険者へ配布	被保険者家族の健康維持	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
希望者への配布(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												- 配付することでセルフメディケーションを向上させるため(アウトカムは設定されていません)								
												26	52	52	78	78	104			

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
3,4	新規	歯科健診	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ウ	対象者への案内を実施1人当たり2回まで実施	カ	健保連神奈川県連合会の事業に参加(神奈川県歯科医師会との連携事業)	希望事業所にて案内実施(2事業所)	希望事業所にて案内実施	希望事業所にて案内実施	希望事業所にて案内実施	希望事業所にて案内実施	希望事業所にて案内実施	希望事業所にて案内実施	歯科関連の重篤な疾患の予防、生活習慣病対策も兼ねる	該当なし
参加人数【実績値】2人 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：15人 令和10年度：15人 令和11年度：20人)-												有所見者の受診率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)歯科検診対象者のうちその後の歯科レセでの受診割合								
5	既存	競技大会への補助	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	2	ス	-	ア	-	関連団体の競技大会への補助	350	350	350	350	350	350	被保険者・被扶養者の健康増進のため	男女とも生活習慣については似た傾向で、食生活は、朝食抜きが全国より高いほかは全国平均より同程度か低いが、飲酒については全国より高くなっている。運動習慣は全国平均より同程度か低い。睡眠、体重増加、生活習慣の改善、保健指導の希望については全国より高い。
イベント回数【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												費用補助のため(アウトカムは設定されていません)								
8	既存	契約保養所	全て	男性	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	契約保養所利用者に1泊につき2,000円の補助を支給	シ	-	案内の実施申請に基づく補助金の支給	100	100	100	100	100	100	利用者のリフレッシュ	該当なし
利用人数【実績値】0人 【目標値】令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)-												保養所のため(アウトカムは設定されていません)								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業  
注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業  
注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施  
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他  
注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築  
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他